

## 令和7年 第3回 区づくり推進横浜市会議員会議（神奈川区）

日 時 令和7年9月5日（金）  
午前 10時から  
場 所 本館5階大会議室

次 第

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 題

(1) 令和6年度 神奈川区個性ある区づくり推進費決算状況について

(2) 令和7年度 神奈川区個性ある区づくり推進費執行状況について

(3) 令和8年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方（案）について

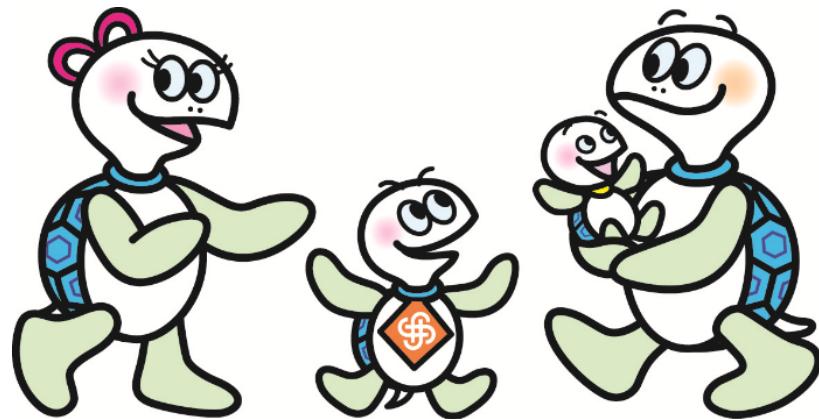
5 閉 会

令和7年 第3回

# 区づくり推進横浜市会議員会議

令和6年度 個性ある区づくり推進費

決算状況



令和7年9月5日  
神奈川区

# 目 次

	ページ
1 令和6年度神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書	• • • 1
2 令和6年度神奈川区自主企画事業等実績	• • • • • 3

# 令和6年度 神奈川区個性ある区づくり推進費 決算調書

## 1 区別総括表

(単位：円)

	当初予算額	現計予算額※	決算額	差引
(1) 自主企画事業費	107,121,000	107,121,000	100,697,632	6,423,368
(2) 統合事務事業費	48,578,000	48,578,000	48,489,362	88,638
統合事務費	26,563,000	26,563,000	28,071,303	△ 1,508,303
統合事業費	22,015,000	22,015,000	20,418,059	1,596,941
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	654,155,000	659,606,000	656,348,794	3,257,206
合 計	809,854,000	815,305,000	805,535,788	9,769,212

※現計予算額は、補正後の数値

«区づくり推進費 執行率 98.8%»

## 2 内訳

(1) 自主企画事業費 100,697,632円 (予算額 107,121,000円) 差引 6,423,368円

(単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引	主な増減理由
3つの施策					
I 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	23,493,000	23,493,000	20,598,434	2,894,566	・外部人材から職員による訪問に切り替えたことによる児童虐待防止対策事業費の残 ・経費執行の見直しに伴う委託料の減による介護予防普及啓発事業費の残等
II 地域がつながり魅力あふれるまちづくり	36,316,000	36,316,000	33,464,952	2,851,048	・地域への専門家派遣回数の減等による地域福祉保健活動推進・支援事業費の残 ・今後の在り方検討実施に伴う活動縮小による区民協議会支援事業費の残等
III 安心・安全なまちづくり	32,466,000	32,466,000	31,693,060	772,940	・児童通学路の看板設置希望数減少による交通安全対策事業費の残等
IV 信頼される区役所づくり	14,846,000	14,846,000	14,941,186	△ 95,186	
合 計	107,121,000	107,121,000	100,697,632	6,423,368	(27事業)

(2) 統合事務事業費 48,489,362円 (予算額 48,578,000円) 差引 88,638円

(単位：円)

区分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引	主な増減理由
統合事務費 ※1	26,563,000	26,563,000	28,071,303	△ 1,508,303	戸籍の広域交付に関する印刷関連経費の増等
統合事業費（8事業）※2	22,015,000	22,015,000	20,418,059	1,596,941	広報よこはま区版デザイン業務委託の契約残等
合 計	48,578,000	48,578,000	48,489,362	88,638	

※1…生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費 ※2…18区共通で実施している事業で局から統合された事業費

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 656,348,794円 (予算額 659,606,000円) 差引 3,257,206円

(単位：円)

区分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引	主な増減理由
1 区庁舎等	96,605,000	96,605,000	93,907,982	2,697,018	区庁舎の電気料金の単価の残
2 土木事務所	9,811,000	9,811,000	10,498,461	△ 687,461	車両更新に伴うリース価格の増
3 公会堂	37,449,000	37,882,000	37,882,000	0	
4 地区センター等	207,868,000	210,426,000	210,426,000	0	
5 ログハウス	8,864,000	9,009,000	9,009,000	0	
6 区民文化センター	120,713,000	121,816,000	121,816,000	0	
7 老人福祉センター	27,029,000	27,432,000	27,432,000	0	
8 コミュニティハウス	55,693,000	56,006,000	55,936,800	69,200	
9 スポーツセンター	51,856,000	52,352,000	52,352,000	0	
10 国際交流ラウンジ	28,420,000	28,420,000	27,673,274	746,726	
11 広場・遊び場	1,382,000	1,382,000	972,690	409,310	
12 区庁舎・区民利用施設修繕費	8,465,000	8,465,000	8,442,587	22,413	
合 計	654,155,000	659,606,000	656,348,794	3,257,206	

## ～令和6年度 神奈川区自主企画事業等実績～

### I 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 20,598,434円(予算額23,493,000円)

- 1 かながわ子育てかめっ子支援事業 【重点】
- 2 かながわ安心子育て支援事業 【重点】
- 3 介護予防・高齢者支援事業 【重点】
- 4 かながわ健康づくり応援事業 【重点】
- 5 市立保育所地域交流事業
- 6 保育所・放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業
- 7 民生委員・児童委員活動支援事業
- 8 ふれあい活動支援事業
- 9 障害者支援事業
- 10 地域活動支援事業

#### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ② 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ③ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ④ DV対策事業（こども青少年局区配）
- ⑤ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）
- ⑥ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）
- ⑦ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）
- ⑧ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ⑨ 市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ⑩ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ⑪ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ⑫ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ⑬ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ⑭ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）
- ⑮ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

# 1 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,372,540円（予算額3,832,000円） ☆重点事業

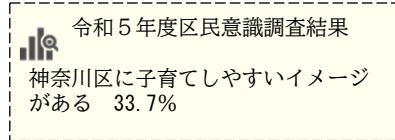
こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行いました。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援しました。

## (1) 土曜日両親教室【拡充】

出産と育児に関する具体的な準備やイメージづくりができるよう、必要な知識に関する講話、先輩パパママの体験談等を交えた土曜日両親教室の開催

（12回実施、延べ参加者486人）



## (2) 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校の児童を対象に、命の誕生や大切さを学ぶ講座を実施（10/22・24 青木小学校 参加児童109人  
1/15 二谷小学校 参加児童63人）

## (3) 養育ネットワーク事業

0歳児とその養育者を対象に地域育児教室を実施  
(区内12か所、各会場10回実施、延べ参加者2,246人)

土曜日両親教室  
(抱っこ体験)

## (4) すくすくかめっ子事業

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流（47会場、延べ参加者4,374人）

- ア 全体交流会（6/24 参加者43人）
- イ 方面別交流会（4エリアで実施 参加者89人）
- ウ 全体研修会（2/3 参加者42人）



親子のたまり場「すくすくかめっ子」

## (5) 子育て情報提供事業

子育て世帯に必要な情報を提供  
ア 子育て応援マップのデザインをリニューアル  
イ 誤飲予防啓発うちわ（1,800部）

### ① ここにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報を届ける事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。

参考：令和6年4月～令和7年3月の実績 訪問員59人、訪問件数1,519件

### ② 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区内には「かなーちえ」（NPO法人 親がめが運営）があります。

参考：令和6年4月～令和7年3月の実績 利用者数 延べ41,622人（サテライト等含）

2 かながわ安心子育て支援事業 2,169,876円（予算額2,719,000円）

☆重点事業

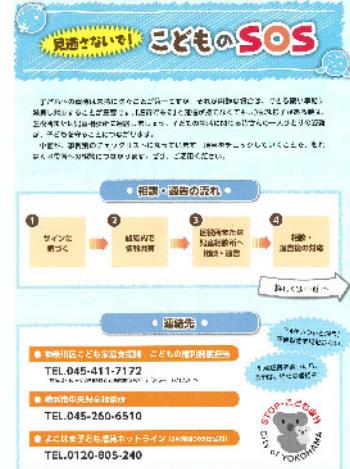
こども家庭支援課

育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援の強化や、個別の訪問・面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげました。また、職員一人ひとりのソーシャルワークを向上させ、複雑化していく事例への対応力を強化しました。

## (1) 児童虐待防止対策事業

#### 虐待リスクのある対象者への支援

- ア 第1子を対象とした新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降への電話、家庭訪問等を実施  
イ 乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等のきめ細やかな支援  
(ア及びイの訪問件数 計32件)



## “見逃さないで！ 子どものSOS” パンフレット

## (2) ファミリーサポート事業

養育に不安を抱える方に対し、個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防  
(17回実施 延べ参加者17人)

### (3) ひとり親家庭相談支援事業

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（72回実施）

#### (4) 虐待・DV対応に関する対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施

- ア DV事例のスーパーバイズ（11/22、2/17実施）
  - イ 虐待事例のスーパーバイズ（11/22実施）
  - ウ DV・虐待事例の法律相談（5/13、7/1、9/2、11/11、1/20、3/3実施）

### ③ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めました。

#### ④ DV 対策事業（こども青少年局区配）

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行いました。

## ⑤ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）

養育環境に課題がある子どもを対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施しました。

### 3 介護予防・高齢者支援事業 2,780,104円（予算額3,723,000円） ☆重点事業

#### 高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、健康維持に取り組む介護予防を進めます。また、認知症の人やその家族が自分らしく暮らしていけるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

高齢者にとっても、あらゆる世代の方々にとっても住み続けたいまちとして、見守りネットワークを各地域で醸成し、地域包括ケアシステムを推進しました。

※フレイルとは、からだとこころの機能が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態のことです。

令和5年度区民意識調査結果

「フレイル※」の認知度 20.7%

#### (1) 介護予防普及啓発事業

高齢化のさらなる進行と要介護認定者のさらなる増加が予測される中、これまで取り組んできた地域での活動支援を継続しながら、幅広い世代の区民のみなさんへ介護予防への関心を高めていくよう取り組みました。

##### ア 健康行動の「継続」につながる意識づけの取組

フレイル予防の4つの柱である「運動・口腔（お口の働き）・栄養・社会参加」への取組を促すため、神奈川区フレイル予防アクションマップを区役所、地域ケアプラザ等で配布しました。（4,161部）また、区民に広く介護予防等を普及啓発するための講演会（7/1 神奈川公会堂 参加者175人）や（民間企業のノウハウを活用した講座（11月29日 反町公園 参加者26人）を開催しました。

##### イ 体力測定会を開催しました。（25回 参加者384人）

##### ウ 体にいいこと手帳を区役所や体力測定会で配布しました。（952部）

##### エ かめ亀手ぬぐいサイズ（神奈川区オリジナル介護予防体操）の普及啓発のため、かめ亀手ぬぐいを区役所や講演会等で配布しました。（1,895枚）

##### オ 神奈川区版シニア通信を発行し区役所、地域ケアプラザ等で配布しました。

（2月、2,000部）



民間企業のノウハウを活用したフレイル予防講座

令和5年度区民意識調査結果

認知症について不安に思うこと  
(第1位) 認知症になった場合の住まいや施設について 56.7%

#### (2) 認知症高齢者支援事業

認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めました。

##### ア 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及展開

登録勧奨の結果3店舗増（全241店舗）

##### イ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」を地域ケアプラザで配布しました。（178個）

ウ 認知症への理解を促進する動画を作成し、市YouTubeや区ホームページ、区庁舎テレビモニターで公開しました。【新規】



認知症普及啓発動画『認知症かも？と思ったら・・』

### (3) 地域包括ケア推進事業

横浜型地域包括ケアシステム※の構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けて取り組みました。

※地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、住まいを中心に、介護、医療、生活支援・介護予防が一体的に提供される日常生活圏域ごとの包括的な支援・サービスの提供体制のことです。

<見守り体制強化に向けた連絡会と会議の開催>

地域ケア会議連絡会（5/21 参加者30人、2/25 参加者25人）

#### ⑥ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）

##### ・地域包括ケア推進事業（健康福祉局事業）

地域包括ケアシステム構築に向け、区レベル地域ケア会議の開催等を通じて推進しました。

##### ・在宅医療推進のための人材育成（医療局事業）

ACP※の概念を正しく理解し、適切に市民の方に伝えられる人材を育成するなど在宅の医療・介護が円滑に行えるよう、専門職の人材育成の研修を行いました。

※もしものときに、どのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有することを「人生会議」（アドバンス・ケア・プランニング：略称ACP）といいます。

#### ⑦ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）

##### ・元気づくりステーション事業

介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をしました。（区内25か所）

\*内容：体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など

##### ・地域介護予防活動支援事業

地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワークを構築しました。

⑧ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

・神奈川区認知症高齢者等SOSネットワーク

認知症のある方等を事前登録することで、行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。

・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）

行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等SOSネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。

・もの忘れ検診（健康福祉局区配）

認知症の早期発見と早期対応を進めるため、市内にお住まいの50歳以上の方を対象に、もの忘れ検診（認知症の簡易検査）を無料で実施しました。もの忘れ検診は市内医療機関で年度内に1回受けられます。

## 4 かながわ健康づくり応援事業 2,063,740円（予算額2,450,000円）☆重点事業

### 福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、生涯を通じていきいきと暮らしていくよう、地域関係団体等と連携し、健康づくり活動を展開しました。

#### (1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業

（保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働）

ア 各種ウォーキングイベント

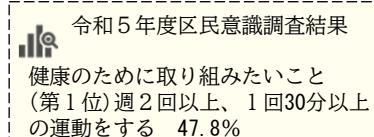
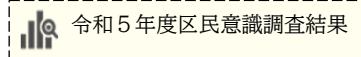
ウォーキングスタッフ対象の研修（2/21 参加28人）、  
区役所主催のウォーキング関連イベント（年1回）、  
ウォーキングスタッフ主催のウォーキング活動支援（21回）

イ ウォーキングマップの改訂

ウォーキングスタッフと協働し、区内6地区のウォーキングマップを順次改訂

令和6年度改訂エリア ①片倉・三枚・神大寺エリア

②幸ヶ谷・青木第一・青木中央・神西・三ツ沢エリア



ウォーキングマップ及び  
イベント配布グッズ



健康チェック

#### (2) 健康づくり推進事業

ア 区庁舎内等での健康チェック

健康相談の実施（年10回 参加者404人）

イ 地域における健康づくり活動の支援

歯周病予防・オーラルフレイル※予防をテーマとした歯科出前講座の開催（年10回 参加者118人）

※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能

の衰えの症状が現れている状態

ウ 働き・子育て世代の健康づくり

両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施（年36回実施）

エ 感染症予防

区民等への感染症予防に関する啓発研修の開催（8/21参加者39人、8/28参加者28人）

#### (3) 食育普及事業

ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進

栄養士、養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会（9/9、3/7）、食育展（6/14～6/21）の実施

イ 食育関連講座

(ア) 学校等との協働による出前食育講座を実施（11/30 参加者50人）

(イ) ヘルスマイト等との協働による食育の普及（6/27 参加者86人、10/16 参加者13人）

(ウ) 3歳児健康診査での食育ミニ講座（年24回 参加者1,143人）



食育展

#### (9) 市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

第3期健康横浜21に基づき、乳幼児期から高齢期まで継続した生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防や重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりに、市民、関係機関・団体、行政が共に取り組むことにより、誰もが健やかな生活を送ることができる都市を目指します。

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施しました。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行いました。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図りました。

#### (1) 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食（3園195人）、  
地域の親子を対象にランチ交流（3園82人）を実施

#### (2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施（3園61人）

#### (3) 保育施設等情報パンフレット配布

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布(10,000部)

#### (4) 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、  
合同園長会（4、6、8、10、2月）等を行い、保育の質の向上を図りました。

#### (5) 防災意識向上推進事業【新規】

保育・教育施設や子育て支援に関わる職員を対象にワークショップを開催し、職員や未就学児等の防災意識強化を図りました。（6/25 参加者31人、7/1 参加者 27人）

※てくてくまちとは、神奈川区と横浜市立大学等が協働で開発した、乳幼児期の子どもと施設の職員が日常の活動の延長線上で防災・減災の視点からまちの資源と活用方法を学べる教材のことです。

#### ⑩ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やしました。

#### ⑪ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施しました。

#### ⑫ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行いました。

##### 【令和6年4月開所】

- ・スターチャイルド《片倉町ナーサリー》（片倉五丁目） 定員60人
- ・ポートサイド野ばな保育園（栄町） 定員19人
- ・Yokohama Front Mutsumi Nursery（鶴屋町） 定員19人

## 6 保育所・放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業

442,885円（予算額753,000円） こども家庭支援課

保育所・放課後キッズクラブ・放課後児童クラブのスタッフ等を対象に、様々な対応力向上を目指し、研修を実施しました。

### (1) 保育関連法人向け現場支援対応研修

区内保育施設の法人・施設長等を対象に、円滑な保護者対応に向けた研修を実施しました。（8/19 出席者55人）

### (2) 放課後関連運営主体・職員等対象研修

各クラブの人材育成を図るとともに、クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施しました。

#### ア 集合研修

研修テーマ	実施日	参加人数
児童虐待への対応方法	7月5日	35人
普通救命講習	7月10日	31人
発達が心配な子の理解と対応	10月22日	36人
クレーム対応（理論と事例検討）	11月15日	37人
クラブの安全対策（事故対応編）	12月18日	19人
クラブの安全対策（災害対応編）	3月7日	28人

#### イ 出前研修

研修テーマ	実施クラブ	実施日	参加人数
コミュニケーション	子安小学校放課後キッズクラブ	1月31日	29人

«放課後児童健全育成事業クラブ数（令和7年3月末現在）»

放課後キッズクラブ18か所、放課後児童クラブ17か所

#### ⑬ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

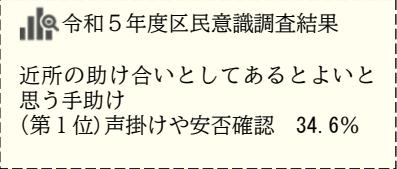
放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を実施します。

## 7 民生委員・児童委員活動支援事業 1,006,110円（予算額939,000円） 福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげました。

### (1) 訪問活動の支援

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を配布  
(マイクロファイバーふきん 12,000枚)



### (2) 広報

民生委員の役割や活動内容等をPRする広報紙を、地域の行事等で地域に配布

## 8 ふれあい活動支援事業 1,846,406円（予算額2,014,000円） 福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援しました。

### (1) 全体研修会

ふれあい活動員全員を対象とする研修会（11月）  
(11/21開催 参加者数200名 テーマ「地域福祉保健計画と見守り活動」)

### (2) ふれあい活動支援

ふれあい活動支援補助金の交付（19地区）

### ⑯ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、訪問や相談など地域における見守り活動等につなげました。

#### 《対象者数（令和6年度）》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,391人  
新たな75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 1,392人

## 9 障害者支援事業 1,795,313円（予算額2,028,000円）

高齢・障害支援課

自立支援協議会や神奈川区障害者地域作業所連絡会等を活用して、関係機関と連携しながら、障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、障害児者の理解を深める普及啓発や自主製品販売の促進に取り組みました。



窓口に設置された生花

### (1) 障害者地域作業所等の活動支援

#### ア 花のデリバリー

活動場所でアレンジした生花の区役所窓口への配達委託

（通年 48週）

#### イ 障害者地域作業所等の活動支援

- (ア) 市営バス車内デジタルサイネージを活用した障害者週間等での啓発（12月）【新規】  
(イ) 区民まつりでの出店による啓発(10月)



市営バス車内デジタルサイネージ



区民まつりでの啓発

### (2) 障害児者の健康づくり支援

自ら歯みがきをする知的障害児者等を対象とした歯科口腔ケア動画を活用した健康づくり支援（3/12 放課後デイサービス利用者への講習会 22人参加）

### (3) 関係機関との連携支援

精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援のための支援技術向上研修、連絡会の開催（3/8 権利擁護支援研修 47人）



講演会開催チラシ

### ⑯ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう、自殺予防リーフレットの配布、神奈川図書館でのパネル展示を実施。

## 10 地域活動支援事業 3,055,423円（予算額3,164,000円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行いました。

### (1) 自治会町内会長感謝会

- ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表すため年1回実施（2月）
- イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（2月）

### (2) 自治会町内会活動支援事業

自治会町内会配達業務

各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）会長あての資料や掲出依頼物などを配達

### (3) 自治会町内会加入促進事業

- ア 加入促進のチラシ（15,000枚）や啓発グッズを転入者セットとして配布
- イ 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援



## II 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり 33,464,952円(予算額36,316,000円)

- 11 地域力アップ推進事業 【重点】
- 12 かながわ脱炭素化推進事業 【重点】
- 13 花と緑あふれるまちづくり事業 【重点】
- 14 情報・魅力発信事業
- 15 わが町かながわ商店街魅力発信事業
- 16 神奈川区資産「わが町かながわとっておき」活用事業
- 17 神奈川区民まつり事業
- 18 区民活動・生涯学習支援事業
- 19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- 20 まちづくり推進事業
- 21 動物適正飼育推進事業
- 22 地域福祉保健活動推進・支援事業

### **自主企画事業費以外で実施する主な事業**

- ⑯ 地域の担い手応援事業（市民局区配）
- ⑰ 緑化推進事業（みどり環境局区配）
- ⑱ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ⑲ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ⑳ 横浜市地域ネコ活動支援事業（医療局事業）
- ㉑ 猫の不妊去勢手術推進事業（医療局事業）

## 11 地域力アップ推進事業

2,531,018円（予算額 3,117,000円）

☆重点事業

区政推進課

地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めました。

### (1) 地域づくり大学校支援事業

地域づくり大学校での学びや卒業生の活動の様子を発信し、  
様々な人や団体とのつながりづくりを支援しました。

（令和6年度卒業生 25人）

また、卒業生を対象に新たな取組への補助を行いました。

ア 講座報告（5回）や卒業生の活動の発信（3回）、

地域づくり大学校交流会の開催（2/16 参加者57人）

イ かながわ地域支援補助金事業

（地域づくり大学校卒業生支援コース：新規3団体、継続2団体）



地域づくり大学校交流会の様子

### (2) 自治会町内会ICT支援事業【新規】

自治会町内会の新たな担い手発掘のきっかけとして、  
ICTを活用した情報発信に関心のある自治会町内会を対象に、  
導入、活用に向けた支援を行いました。

ア LINEでの地域情報の発信方法を学ぶ

「LINEの情報発信講座」の開催

（第1回 7/21 参加者 23人、

第2回 8/25 参加者 21人）

イ 自治会町内会ヘアドバイザー派遣の実施（10月～1月 2回）

ウ ICTの活用状況の情報共有を目的とした交流会の開催（3/9  
参加者34人）

令和5年度区民意識調査結果

70歳以上のスマートフォン所有率  
73.0%



### (3) 区民協議会支援事業

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動に対して支援を行いました。

ア 区民協議会のあり方検討委員会を実施（年3回）

イ 運営委員会の開催（月1回）

ウ 地域の課題に沿った部会活動の実施（防災、ごみ、地域活性化）

### ⑯ 地域の担い手応援事業（市民局区配）

区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施しました。

## 12 かながわ脱炭素化推進事業 1,906,703円（予算額2,180,000円）

★重点事業  
区政推進課

区民・事業者との協働により、横浜市中期計画（2022-2025）基本戦略3「Zero Carbon Yokohamaの実現」に向けて、脱炭素社会の推進に取り組みました。

### (1) 脱炭素ライフスタイル啓発事業

#### ア 脱炭素ライフスタイル講座

##### (ア) 神奈川大学との連携による小学生向けワークショップの実施

かながわ区民カレッジ for Kids

- ・プラ製品のアップサイクルワークショップ（8/3 7組14人）
- ・間伐材工作ワークショップ（8/18 7組14人）

##### (イ) 小学生向け区内企業等のSDGsの取組紹介リーフレットの制作【新規】

- ・経済団体への協力要請（8月）、企業へ原稿作成依頼（9月～）、  
内容確定（1月）、校長会での周知（3月～）

#### イ 脱炭素ライフスタイル啓発の広報【新規】

「かながわ区民カレッジ for Kids」に参加した御家族に御協力いただき、地域情報紙に脱炭素ライフスタイル啓発記事を掲載（2回）

#### ウ ECOパートナー協定に基づく横浜FCとの協働事業の実施

（かながわ区民DAY及びECOパートナーダイ出展）

### (2) 地産地消推進事業

#### ア 区内産野菜等の出張販売の実施

（5/27 来場者130人、10/27 来場者143人、

11/5 来場者150人）

- ・野菜、花苗の販売
- ・直売所マップやレシピ集などを活用した地産地消の  
情報発信

#### イ 区内花き農家と連携した区庁舎花壇の整備【新規】

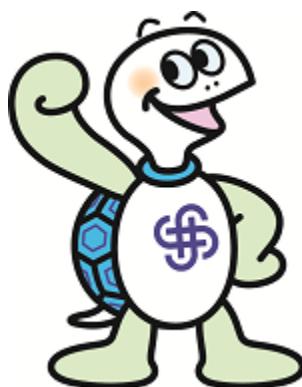
（年2回 7月、11月）



かながわ野菜市の様子

#### 令和5年度区民意識調査結果

神奈川区の良さや特徴でPRすると  
良いところ  
丘陵部などの農業 14.3%



子育てしたいまちづくりやGREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運醸成を図るため、道路・河川・公園・緑地等を管理するボランティア団体と協働で花苗・球根の植栽や花壇の整備を促進し、花や緑あふれるまちづくりを進めました。また、神奈川区内の公園所在マップを作成し、ウェブページへ掲載することで、子育て支援や愛護会活動の新規担い手の発掘を図りました。

### (1) 花苗・球根の配布

花を通じ、公共施設の維持管理に多くの人が積極的に関わる環境をつくり、花いっぱいで魅力的な街をつくりました。

- ア 花と緑あふれる公園づくりを公園愛護会と連携して実施（区の花であるチューリップの球根や季節の花苗の配布、育成）（5/23、5/24及び6/14に79団体へ5,784株を配布、10/24、10/25に134団体へ花苗及び球根を11,192株配布）
- イ 公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター等のボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花苗や球根を植付



チューリップの植栽



保育園と連携した公園づくり

### (2) 公園及び愛護会活動のPR【新規】

公園愛護会の新たな担い手の発掘や転入者の子育て支援を図るため、神奈川区内の公園所在マップを作成しウェブページへ掲載しました。また、SNSを活用し公園や公園愛護会活動のPRを行い、花や緑に触れるきっかけづくりを図りました。

### (3) ボランティア団体の交流の促進

施設管理に不可欠な、ボランティアの育成と活動の拡充につなげました。

- ア 土木事務所との協力体制の構築と団体活動の促進を図るため、区内の道路、公園、河川の各ボランティア団体の交流会を実施（11/15 岸根公園(45名)、1/22 大船フラワーセンター(54名)）
- イ 各地域の公園愛護会活動の連携協力を図るための支援の充実（三枚町第三公園：花壇づくり、反町公園：草刈り機安全講習）
- ウ 公園と保護者の結びつきの機会を実施するため、保育園や小学校と連携した公園づくりの実施（市立3保育園で計171株を植付、子安台小学校で育てた花苗を愛護会と連携し、植付）

区の取組や区政情報を、各種媒体を使って効果的に発信しました。また、区内の様々な資源を活用し、神奈川区の魅力を創出・発信しました。

#### (1) 各種媒体の特性を活かした情報発信

- ア ホームページ、X（旧Twitter）、屋外看板や府内モニター等、媒体の特性を活かした情報発信
- イ 職員の広報マインド・広報スキルアップ研修（5/28 参加者21人、10/9 参加者13人）

#### (2) 区のマスコットキャラクター・区の花の活用

神奈川区のマスコットキャラクターや区の花を、広報や  
その他の場面で活用し、親しみやすさにつなげました。



- ア 区のマスコットキャラクター活用事業

- (ア) 「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供
- (イ) 区の魅力PR用物品の制作

- イ 区の花チューリップいっぱい事業

- (ア) 区の花「チューリップ」写生画展

令和6年度チューリップ写生画展  
(神大寺地区センター)

区内小学生対象、受賞作品を区内公共施設等で展示

○神之木地区センター 8/5～8/13

○神大寺地区センター 8/14～8/20

- (イ) 区内私立小学校に区の花「チューリップ」の球根を配付（10月 配布数380個）
- (ウ) 区民向けに球根を配付（配布数200個）・育成してもらい、区の花チューリップの普及啓発を実施。併せて、広く区民に神奈川区公式Xへチューリップの写真を投稿してもらうキャンペーンを実施（チューリップdiary）【新規】

#### (3) 歴史活用事業

- ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施

神奈川宿フェス2024秋（令和6年11月24日（日））

参加者数 約1,700人

- イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報

- ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新（6か所）

#### (4) 区民生活マップの発行

転入者等に神奈川区内の施設等の位置や連絡先などを紹介するマップを作成・配布  
(日本語版 12,000部を作成)

##### ⑯ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業事業（みどり環境局区配）

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配布しました。（配布数4,150個）

## 【参考】

令和6年度 GREEN×EXPO 2027に関する主な区の取組

- ・ 庁舎外看板及び懸垂幕の設置、庁舎及び土木事務所入口にカウントダウンボードを設置
- ・ 神奈川区内にある素敵な花と緑のスポットを紹介する冊子を作成し区内施設等に配架
- ・ 区民まつりでGREEN×EXPO 2027の啓発ブースを出店し、岩崎学園情報科学専門学校の学生と連携したお花クイズ等を実施
- ・ 「幸せを創る明日の風景」を題材に、区内の中学生が制作した絵画作品を神奈川図書館で展示（参加校：浦島丘中学校、栗田谷中学校、菅田中学校、錦台中学校、六角橋中学校）
- ・ 花壇ピックを区内の公園愛護会等の団体に配布し、各団体の花壇で活用
- ・ 区の花「チューリップ」の写真を神奈川区公式Xに投稿してもらうキャンペーンの実施（再掲）



◀ 区内の花と緑のスポットを紹介する冊子「はなminiまいる」



◀ 各団体の花壇で活用していただいた花壇ピック

## 15 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,849,884円(予算額1,900,000円) 地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図りました。

### (1) 商店街ラリー事業

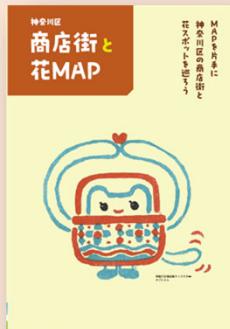
神奈川区内のお店からエントリーされた商品を紹介するとともに、店舗を巡るスタンプラリー（神奈川区商店街おやつラリー）を開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作りました。

(開催：11月～1月、参加店舗数：23店舗、応募者数：406)



### 【参考】商店街と花マップ及び、商店街キャラクター（かごにゃん）の活用

経済局の区局間連携魅力ある商店街づくり事業で作成した、商店街と花マップ及び、商店街キャラクターについて、区役所と商店街で活用することで、商店街の魅力発信に取り組みました。



商店街と花MAP  
商店街及び区民利用施設  
にて配布

### ⑯ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

### ⑯ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図りました。

## 16 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

1,857,400円（予算額1,920,000円）

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みました。

### (1) 神奈川区資産の活用

ア 「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベントの開催支援等

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々で組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援しました。

(ア) 専用ホームページを活用し、「散歩ガイド」やイベント情報等、神奈川区の魅力を発信

(イ) 小学生を対象として神奈川区内の魅力スポットを紹介する「おすすめスポットコンテスト」を実施（6/11、応募人数：341人/144作品）

(ウ) 「謎解きラリー」を実施（応募人数：392人）

### (2) 「わが町 かながわ とっておき」写真コンテスト

ア 写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展（応募作品数：221作品）

写真コンテスト「海と緑と丘のまち神奈川区」の魅力を表現する写真を小中学生、一般より募集し、入賞作品を用いた魅力発信を行いました。（8月～3月）

イ 看板の維持管理

「わが町 かながわ 50選」案内看板の現況確認を実施し、必要に応じて補修をし、適切な維持管理を行いました。

## 17 神奈川区民まつり事業 4,000,000円（予算額4,000,000円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川区民まつりの開催を支援しました。

(1) 実行委員会や各運営部会との連絡調整

(2) 会場等の利用支援

(3) 開催日：令和6年10月13日（日）午前10時から午後3時30分まで

(4) 開催内容：各種団体によるブース出店（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等102団体）、ステージプログラム等10団体

(5) 協賛団体：27団体



開会式の様子（令和6年度）



ブース出店の様子（令和6年度）

文化・スポーツ・青少年育成等の区民活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指しました。区民活動支援センターは区域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みました。

### (1) 生涯学級事業

地域課題に関心を持って自主的に学び取り組むきっかけをつくるとともに、地域活動の中核となる区民を増やすことを目指し、「生涯学級運営委員会」の活動を支援しました。

ア 生涯学級運営委員会が企画運営する区民向け連続講座

（3講座。R6年度のテーマ：「子育て中の親のセルフケア」「多文化共生への理解促進とボランティアの発掘」「身近な環境問題の啓発」）

イ 生涯学級運営委員対象のスキルアップ講座・交流会（3回実施 参加者延べ41人）



「子育て中の親のセルフケア」  
チアアップ～having fun!～

### (2) 区民活動支援センター事業

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民による活動や生涯学習を支援しました。また、区域の中間支援組織として地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みました。

ア 相談・支援等

(ア) 地域での活動に関心のある人、地域で活動している個人・団体等からの相談への対応

(イ) 助っ人バンク（人材バンク）等を活用した地域の様々な主体をつなぐコーディネートやネットワークづくり

（助っ人BANK登録者・団体数：105、コーディネート成約数65件）

(ウ) 登録者・団体の活動発表及び、地域への周知・活用のきっかけの場としての「みんなの文化祭」の開催（4回実施、参加団体延べ23団体、参加者延べ486人）

イ 情報発信

ホームページやSNS、広報よこはま区版を活用した情報発信

ウ 人材の発掘・育成・活用

(ア) 区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催

（通年3講座 受講者計48人）

(イ) 登録団体等対象の交流会（7/11 参加者28人、2/27 参加者30人）

エ 地域施設間連携

(ア) 地域の課題や魅力・情報の共有などをうため施設間連携会議の開催

（8/26 出席者31人、12/2 出席者37人）

(イ) 地域エリア別会議の開催など

オ かながわ湊フェスタ支援（11/3）

複数の活動団体からなる実行委員会が企画・運営する「かながわ湊フェスタ2024」の開催を支援しました。多くの活動団体が参加することで、団体同士の連携、新たな地域人材の発掘につなげるとともに、神奈川区の人やまちなど多面的な魅力を発信しました。

### (3) 文化活動支援事業

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援しました。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させました。

#### ア 文化協会支援

##### (ア) 区伝統芸能祭

民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい（10月）

##### (イ) 区民音楽祭

コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会（協会共催）（8月～11月）

##### (ウ) 区文化展

洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、茶道の発表会（2月～3月）

##### (エ) 春のコンサート（3月）

##### (オ) ちいさな美術館（7月～12月）

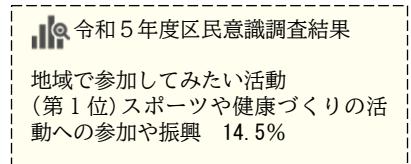
#### イ 読書活動推進

##### (ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会等の開催（「自分らしく生きたっていいんじゃない」12/8・78人参加）

##### (イ) 読書活動関係機関連絡会（年2回）

##### (ウ) 神奈川区内読書施設マップの更新（10月）

（9月末発行 2,200部）



### (4) スポーツ振興事業

種目別団体による自主的な活動を通じて、区民が生涯を通じてスポーツ活動を楽しみながら健康増進・体力づくりができるよう、区スポーツ協会の事業を支援しました。

また、トップスポーツチームと連携した事業を実施しました。

#### ア 区スポーツ協会支援

区スポーツ協会会員の競技団体が実施する区民大会を支援

（競技団体数16、事業数75、区民大会57、交流会等18）

#### イ トップスポーツチームとの連携

神奈川区にゆかりのあるトップスポーツチームと連携し、スポーツ観戦企画を実施

2/8 横浜キヤノンイーグルス1,000名、3/22 横浜ビー・コルセアーズ150組300名

### (5) 青少年育成事業

子どもや青少年がいきいきと活動し活躍できる機会をつくるため、子ども会育成連絡協議会が行う事業や研修、青少年の自主的な音楽やダンス等を広く披露する場をつくり、地域の活力の向上、青少年の健全育成を目的とするイベント「B-SKY FES」の開催を支援しました。

#### ア 子ども会育成連絡協議会支援

青少年向け事業や青少年育成者研修事業への支援

#### イ B-SKY FES支援

「B-SKY FES」の開催支援（9/8開催・16団体参加・来場者数750名）

## 19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり

1,897,895円（予算額1,320,000円）

地域振興課

SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない持続可能な社会を作るため、ごみと資源の分別徹底及びプラスチック対策、食品ロス削減等の3Rを推進しました。

また、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指すため、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援を実施しました。

### (1) 3R啓発事業

- ア 地域まつり等での啓発（イベント18回・説明会24回）
- イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発（1回）
- ウ 保育園や小学校等での出前授業（10回）
- エ 広報よこはま区版・ホームページ等を活用した啓発（8月、10月、11月、2月号掲載）
- オ 功労者の表彰（6/18：個人6名・2団体）
- カ フードドライブの推進（5,107点、1828.4 kg）
- キ リユース文庫コーナーの管理運営（配架2,218冊）

### (2) 地域美化活動支援事業

- ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援

- ・清掃用具貸出33件、地域清掃への参加66回

- イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」

- ・9/25実施、参加者：地域、73事業者等 1,477人

- ウ 区民要望の多い地区のポイ捨て・環境美化の推進

- ・新子安駅脇道路用地閉鎖・路面標示（7/1）

- ・子安小学校と連携した周辺環境の改善

- 児童作画ポスターの駅周辺への掲示

- ・新子安駅頭啓発

- （5/22、6/26、7/17、10/29、12/18、1/28、2/26）

- エ 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発

- ・4/2、6/3、8/2、10/1、12/2、2/3実施

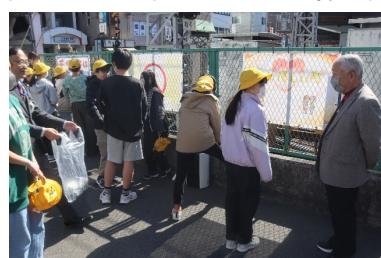
- オ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発

- ・片倉町駅：6/5、9/5、12/5

- ・大口駅：5/14、7/9、9/10、11/12、1/14、3/11



わが町かながわマナー違反一掃作戦



子安小学校児童作画ポスター掲示

### (3) 不法投棄防止対策事業

- ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）

- イ 地域と連携した不法投棄への対応（不法投棄撤去の要望390件、17.27t）

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちの実現に向け取り組みました。

#### 企画調整・まちづくり事業

転入者・転出者の転出入理由や意識などを把握・分析し、

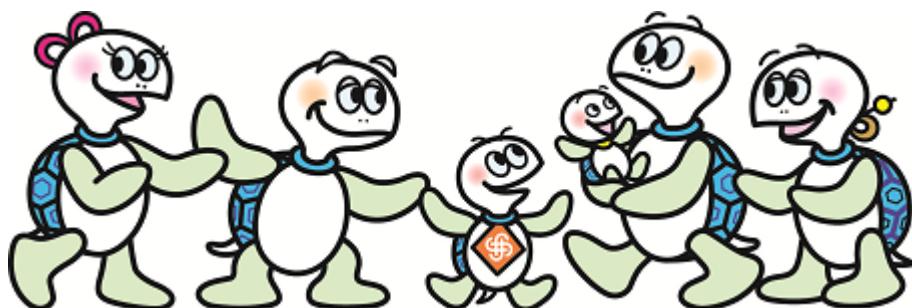
令和5年度区民意識調査結果

神奈川区に【住み続けたい】 82.3%

「住みたい」「住み続けたい」まちづくりの施策に活かしていくことを目的に、転入者・転出者意識調査を実施しました。（4月～）

#### 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行いました。



## 21 動物適正飼育推進事業 223,173円（予算額229,000円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行いました。

### (1) 犬猫の適正飼育啓発事業

- ア 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法等の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場や窓口等で配布  
啓発チラシ：1,000枚、マナープレート：200枚、啓発用トイレパック：1,200パック
- イ 福祉関連部署との連携による多頭飼育問題への早期発見や不適正飼育の予防
- ウ 広報よこはま区版等での啓発（1月）

### (2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ア 不妊去勢手術実施の支援等  
飼い主のいない猫を起因とするトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布やセミナーの開催及び神奈川区猫ボランティアの派遣等
- イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器を貸出
- ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- エ 飼育管理が不適切な猫の飼い主への対応  
飼い主のいない猫の増加の原因になっているため、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導
- オ 広報よこはま区版等での啓発

### ⑩ 横浜市地域猫活動支援事業（医療局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサやふん尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援しました。

登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をしました。

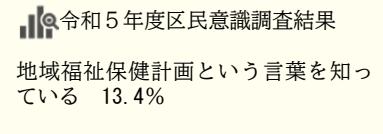
### ⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業（医療局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成しました。

## 22 地域福祉保健活動推進・支援事業 2,791,617円（予算額4,282,000円）

福祉保健課

「かながわ支え愛プラン（第4期 神奈川区地域福祉保健計画）」を推進するため、計画の周知を重点的に行うとともに、活動の情報共有や毎年の振り返りなど、地域の実情に合わせた支援方法を関係機関と協働して検討しました。あわせて、令和5年度に実施した区計画中間振り返りの内容も踏まえて、第5期神奈川区地域福祉保健計画（期間：令和8年度～12年度）の策定に向けて計画の素案等を作成しました。



### （1）区計画の推進及び策定（※）

#### ア 区計画の周知

- （ア）ホームページ上の特設サイトや地域情報誌において、動画や写真を活用した地域活動の広報

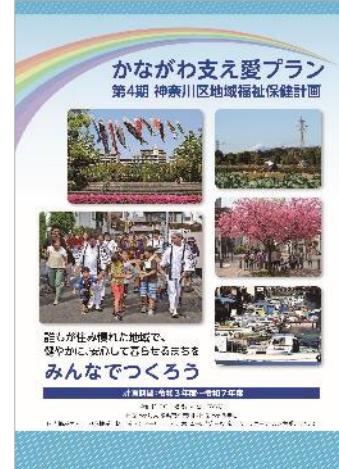
- （イ）小学校での出前授業の実施（子安小学校（9月））

#### イ 区計画の推進及び策定

- （ア）区計画の推進及び策定に向けた意見交換の場となる「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（年2回）

- （イ）計画策定アドバイザーを活用した推進方法の検討

- （ウ）区計画の骨子、素案作成（通年）



かながわ支え愛プラン  
(第4期地域福祉保健計画)

### （2）地区別計画の推進及び策定（※）

#### ア 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による地区支援

- イ 各地区において、取組の達成度合いや課題を共有し、今後の進め方について話し合う地区別計画推進会議などの開催を支援（地区ごとに年2～3回）

- ウ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月）

- エ 地区別計画の素案作成（通年）※21地区で完成済

※令和6年度から令和7年度までの2か年で第5期計画を策定します。

#### 【スケジュール】

素案作成 令和6年から7年

区民意見募集 令和7年8月

計画確定 令和7年12月

冊子の配布・周知 令和8年2月から

### Ⅲ 安全・安心なまちづくり 31,693,060円 (予算額36,316,000円)

- 23 地域防災力向上事業 【重点】
- 24 神奈川区防犯対策事業
- 25 交通安全対策事業

#### **自主企画事業費以外で実施する主な事業**

- ㉗ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ㉘ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ㉙ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ㉚ 管理不足空家等の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ㉛ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）
- ㉜ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）
- ㉝ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（下水道河川局事業）
- ㉞ 横浜駅周辺地区における下水道整備（下水道河川局事業）
- ㉟ 公園再整備・施設改良事業（みどり環境局区配）
- ㉟ ① 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ㉟ ② 道路改良事業（道路局区配）

## 23 地域防災力向上事業

24,201,385円（予算額23,681,000円）

★重点事業

総務課

福祉保健課

高齢・障害支援課

生活衛生課

安全・安心なまちづくりの実現に向け、防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進しました。また、区では「次世代につなぐ防災」を主な取組テーマとして設定し、子育て世代への防災啓発を進めました。

さらに、地域、医療機関、民間事業者等と連携して地域防災力の向上を図りました。

### (1) 地域防災力の強化

#### ア 自助の推進

- (ア) SNS等を活用した防災情報の発信（月2回）
- (イ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等
- (ウ) 防災アドバイザー派遣事業（5回139名）

横浜市建築士事務所協会の建築士が自治会町内会等に出向いて自宅の耐震化や家具転倒防止などについて講話を実施

#### イ 共助の推進

- (ア) 地域防災拠点の機能強化

運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂  
支援、地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）、  
地域防災拠点だよりの発行（3回）

- (イ) 共助推進事業

町の防災組織が実施する防災活動や防災資機材購入にかかる費用を補助（交付：36団体）

#### 【主な交付内容】



防災情報をX（旧Twitter）にて  
発信

共助体制強化：ポータブル電源（8件）、本部用テント（6件）

体験型防災研修：防災施設見学（3件）

地震火災対策：スタンドパイプ式初期消火器具（2件）

- (ウ) 令和6年能登半島地震被災地派遣報告会の実施

被災地に派遣された職員より、現地の被害状況や緊急消防援助隊や保健師チーム、災害ボランティアの活動内容等の報告を行いました。

（9月20日 神奈川公会堂 参加者：106名）

- (エ) 窓ガラス飛散防止普及啓発事業

自治会館・町内会館の大地震、風水害による窓ガラスの破損を防ぐため、日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置を促進（交付：7件）

#### ウ 次世代につなぐ防災

- (ア) 子育て世代に向けた啓発の取組

a 乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布（ドアロックストッパー 1,558個）

## b 地域育児教室と連携した防災啓発

区内12か所で実施している地域育児教室に出向き、乳幼児向けの防災備蓄の重要性や在宅避難に向けた自宅の防災対策について啓発を実施（12か所111組）

### (ア) 親子向け防災ワークショップ

子育て世代に防災の取組を広げるため、夏休み期間を利用し、親子で参加できる防災ワークショップを実施（8/18 参加者28人）

### (イ) 防災教育による担い手育成

中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援（5校9回 延べ約2,460人）

### (ウ) 子育て世代向け防災ガイド

区PTA連絡協議会と協力し、子育て世代向けガイドを作成・配布（2月）



中学校での出前講座

## (2) 区役所災害対応力の強化

### ア 職員向け訓練・研修

#### (ア) 転入職員向け研修、即応班研修（4/11、4/22、4/26）

#### (イ) 風水害避難場所運営訓練（6/11）

#### (ウ) 地域防災拠点参与等研修（6/7）

#### (エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8/15）

#### (オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9/27、1/23）

#### (カ) 区本部各班訓練

### イ 区本部運営に必要な物資の整備

風水害用避難場所におけるペット対策用物品の整備（6か所）



区本部初動対応訓練

## (3) 医療初動体制の整備

### ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川区災害医療連絡会議（10月、12月）

### イ 災害医療の訓練や区民啓発

#### (ア) 区災害医療訓練（11/17）

参加機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会、災害拠点病院（横浜市立市民病院）

災害時救急病院 7か所、横浜市災害支援ナース

参加者数：42人

訓練メニュー：区役所、医師会事務局で通信訓練（収集状況、重傷者搬送の確認等）

市民病院の重傷者受入訓練の見学・意見交換

#### (イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（8/23、10/18、12/6、2/7）

市民病院の重傷者受入訓練の見学・意見交換

#### (ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発（神奈川小学校、六角橋中学校）

災害医療アドバイザーより、災害時の医療体制に関する講話

区役所職員より、地域防災拠点に避難する際の留意事項や感染症対策について啓発

#### (エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練（11/5～11/9）

#### (オ) 広報よこはま区版で横浜市災害支援ナース募集（10月）



区災害医療訓練

#### (4) 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図りました。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援しました。

ア 新規協定締結の促進 『令和7年3月末現在 名簿提供団体：109団体』

(ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）

(イ) 災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（9/2）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成（令和6年度交付実績：1団体2万円（区負担額1万円））

#### (5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）の運営体制を確保するため、HUGカードを活用するなどして、避難所協定締結施設を対象とした連絡会・研修会等を行いました。

『令和7年3月末現在 福祉避難所 協定締結数：23施設』

ア 福祉避難所協定締結施設向け連絡会（9/25、3/24）

イ 福祉避難所協定締結施設向け研修会（9/25）

ウ 福祉避難所情報共有システムを活用した

開設情報等受伝達訓練（9/25）

エ 福祉避難所の備蓄品の全施設への追加整備

（防災ラジオ・救急箱等、2月）

オ 福祉避難所に関する啓発チラシの作成（3月）



福祉避難所に関する啓発チラシ

#### (6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会（5/21）にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発

(イ) 「災害時のペット対策～ペットとの同行避難対応ガイドライン～」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援8拠点

(ウ) 具体的な対策の検討を進めている拠点数か所に対し、必要に応じて専門家のアドバイスを得ながら各拠点での一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援（2拠点）

(エ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施

(オ) 専門家等による講演会の実施（10/19 ペットと安心して暮らすコツ 18名）

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

(ア) 広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知（3月）

(イ) 地域防災拠点や区民まつり等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施

（1回 9/17～9/27）

ウ 日ごろからの備えとして、「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」  
及び「神奈川区動物病院マップ」を区役所窓口等で配布



地域防災拠点でのパネル展示及びペット同行避難訓練



神奈川区動物病院マップ

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進しました。

### (1) 住みよいまちづくり活動助成（21地区連合町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・

#### 3R推進活動支援）

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、活動助成金を交付

主な活動実績：防犯パトロール、通学路の見守り、球技大会、清掃活動 等

（交付：21団体 計2,474千円）

### (2) 防犯活動啓発事業

ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信（配信：16件 登録者数：約2,500人）

イ 広報よこはま区版等による防犯啓発（6月、7月、11月、2月）

（6月：特殊詐欺、7月：夏休み子ども防犯啓発、11月：空き巣・自転車盗など窃盗犯罪  
2月特殊詐欺）

ウ 地域での防犯活動に必要な物品（帽子・ベスト・のぼり旗等）の貸与・配布（14件）

エ 防犯キャンペーン（2回）

オ 自治会町内会等への防犯啓発チラシ配布（約6,000部）

カ 神奈川区自治会町内会研修会で特殊詐欺被害の防止講演（12月）

キ 神奈川警察、防犯協会、民生委員と連携した個別訪問による防犯啓発（約120世帯）

ク 高校進学前の中学三年生に向けた闇バイト啓発チラシの配布（約1,400人）

ケ 市民局主催の特殊詐欺防犯啓発イベントの周知、当日設営等の協力（参加者 約150人）



特殊詐欺啓発のぼり旗



啓発チラシ



東神奈川駅での防犯キャンペーン

地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発を行いました。また、路側帯のカラー化などの児童通学路の安全確保に必要な対策を、道路管理者である土木事務所と連携して行いました。

区内駅周辺での放置自転車等の減少に向け、区内駅周辺の自転車等放置禁止区域内での地域による啓発活動を行いました。

### (1) 交通安全啓発事業

#### ア 交通安全教室啓発

新入生向け道路の歩き方、高学年向け自転車の乗り方（小学校19校）

スケアードストレイト方式による自転車の乗り方（中学校1校）

親子三世代で学ぶ自転車の乗り方（自治会町内会3件）

#### イ 交通安全チラシおよび啓発物品の配布（22件）

#### ウ 広報よこはま区版を活用した啓発

（4月：新入生保護者向け交通安全啓発、5月：自転車の乗り方ルール、

7月：夏休み子ども交通安全啓発、12月：飲酒運転の根絶）

#### エ 警察と連携した交通安全啓発キャンペーン（9回）



警察と連携した交通安全啓発キャンペーン



スケアードストレイトでの交通安全教室（中学校）

### (2) 児童通学路整備事業

#### ア スクールゾーン対策協議会活動の支援（交付：18団体 各20千円）

#### イ 通学路内の路面標示の補修、電柱巻啓発看板の設置（看板設置：15件）

### (3) 交通安全対策工事

路面標示・標識の設置、補修等（対応件数：130件）



### (4) 神奈川区交通安全対策協議会（事務局）

#### ア 神奈川区交通安全対策協議会開催（4/24）

#### イ 交通安全功労者表彰（個人7名、3団体表彰）

### (5) 自転車マナーアップ事業

自転車利用のマナーアップ啓発（通年）

通学路 路面標示の補修

### (6) 自転車等放置防止推進協議会への助成

各禁止区域の協議会に対する活動費助成（4月～6月 交付：5団体 各50千円）

**(22) 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）**

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

再開発建物は、令和6年3月に竣工し、6月20日に商業、ホテル等がグランドオープンしました。

また、交通広場については、令和7年3月3日に供用開始しました。

令和7年度末には、約8年に及ぶ再開発事業が完了する予定です。

**(23) 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）**

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和6年度は、既成市街地との接点となる星野橋を撤去し、運河沿いの護岸工事などを進めるとともに、地区内の水域ほぼ全域にわたり埋立工事を進めました。

また、事業の進捗に伴い事業計画変更を行い、工事完了を令和7年度末から令和9年度末に延伸しました。

**(24) まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）**

地震火災における被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行ってきました。また、浦島町地区、六角橋商店街地区及び白幡上町地区等における協働による防災まちづくりを継続して進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進しました。

**(25) 管理不足空家等の防止・解消対策の推進（建築局事業）**

令和6年3月に「第3期横浜市空家等対策計画」の策定をしており、①空家化の予防、②空家等の流通・活用促進、③管理不足空家等の防止・解消の3つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めます。

令和4年度は、所有者調査委託等の従前の取組に加え、区が行う管理不全な空家等の初期対応の委託をモデル実施しました。

令和5年度は、初期対応の委託を全市展開し本格実施することで、より効果的かつ有効な管理不全な空家等の解消の取組を進めました。

令和6年度は、改正法で新設された管理不全空家等について、本市の運用の検討を進めました。

**(26) 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）**

横浜市自転車活用推進計画の「いかす」施策に基づき、公共交通の機能補完等を目的とした横浜市内広域でのシェアサイクル事業の社会実験(令和4年6月10日～令和7年3月31日)を民間事業者と協働で実施しました。神奈川区は先行的に事業を展開する重点展開区として位置づけられていました。

**(27) 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）**

菅田の丘小学校は令和3年4月に、旧池上小学校と旧菅田小学校の統合校として開校しました。菅田の丘小学校の新校舎は旧池上小学校の敷地に令和4～6年度に整備を行い、令和6年5月に、新校舎に移転しました。なお、校地整備については、令和7年3月末に完了し、グラウンド等の利用が開始となりました。

二谷小学校については、最も古い校舎が目標耐用年数の築70年が迫っており、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替えを検討しています。検討にあたっては、近隣の斎藤分小学校が小規模校であるため、学校統合の検討を学校規模適正化等検討部会において進めていましたが、斎藤分小学校及び二谷小学校に隣接する青木小学校において、通学区域内の住宅開発等により今後、教室数が不足することが判明したため、第6回検討部会（令和6年9月19日開催）において、学校統合を見送り、斎藤分小学校は当面の間存続し、二谷小学校は単独での建替えに着手する旨の意見書がとりまとめられ、検討部会は終了しました。二谷小学校は今後、単独での建替えに向けて設計等を進める予定です。

**(28) 下水道管きよ耐震化事業／下水道再整備事業（下水道河川局事業）**

災害時に必要な物資等を輸送するための緊急輸送路などに敷設された下水道管の耐震化を進めています。令和6年度は国道1号などで耐震化工事を発注しています。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。

令和6年度は高島台、平川町から二ツ谷町、松ヶ丘周辺などで工事を行いました。

**(29) 横浜駅周辺地区における下水道整備（下水道河川局事業）**

市内で最も都市機能が発達し集積している横浜駅周辺地区（エキサイトよこはま22）では、目標整備水準を時間降雨量約74mm（30年に1回の降雨）に引き上げ、下水道施設の整備を進めます。

令和6年度は引き続き、神奈川公園等でエキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を進めました。

**(30) 公園再整備・施設改良事業（みどり環境局区配）**

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和6年度は浦島町浜公園で実施を予定しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。

令和6年度は、神奈川公園、大安寺公園、菅田みどりの丘公園などで実施を予定しています。

**(31) 道路維持修繕事業（道路局区配）**

羽沢南二丁目（主要地方道環状2号線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図りました。

**(32) 道路改良事業（道路局区配）**

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、関係地権者と用地交渉を進め、早期取得、早期完成を目指します。

## IV 信頼される区役所づくり 14,941,186円 (予算額14,846,000円)

- 26 かながわデジタル推進事業 【新規】  
27 チーム神奈川おもてなし向上事業

### 26 かながわデジタル推進事業 8,032,967円 (予算額 8,217,000円) ☆新規事業

総務課

神奈川区の窓口におけるデジタル化の推進により、来庁者の利便性向上や混雑緩和を図りました。

 令和5年度区民意識調査結果

スマートフォンで「電子申請などの行政手続き」をしている 26.0%

(1) 区役所デジタル化推進

- ア 来庁者用のWi-Fi設置（2月）
- イ 区政広報用デジタルサイネージの増設（2箇所：本館3階及び5階エレベーターホール、3月）、配信システムの導入（3月）
- ウ 窓口混雑状況や呼出番号をWeb上で確認できるシステムの保守・運用（通年）

(2) 窓口呼出システム切替

戸籍課、保険年金課の窓口呼出システムの切替を行い、事前Web発券、混雑状況のWeb確認、呼び出し通知機能により混雑緩和を図りました。（1月）

### 27 チーム神奈川おもてなし向上事業 6,908,219円 (予算額 6,629,000円)

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策により、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指しました。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めました。

(1) 人材育成等推進事業

- ア 新採用・転入者研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修（4回：5月、7月、10月（2回））

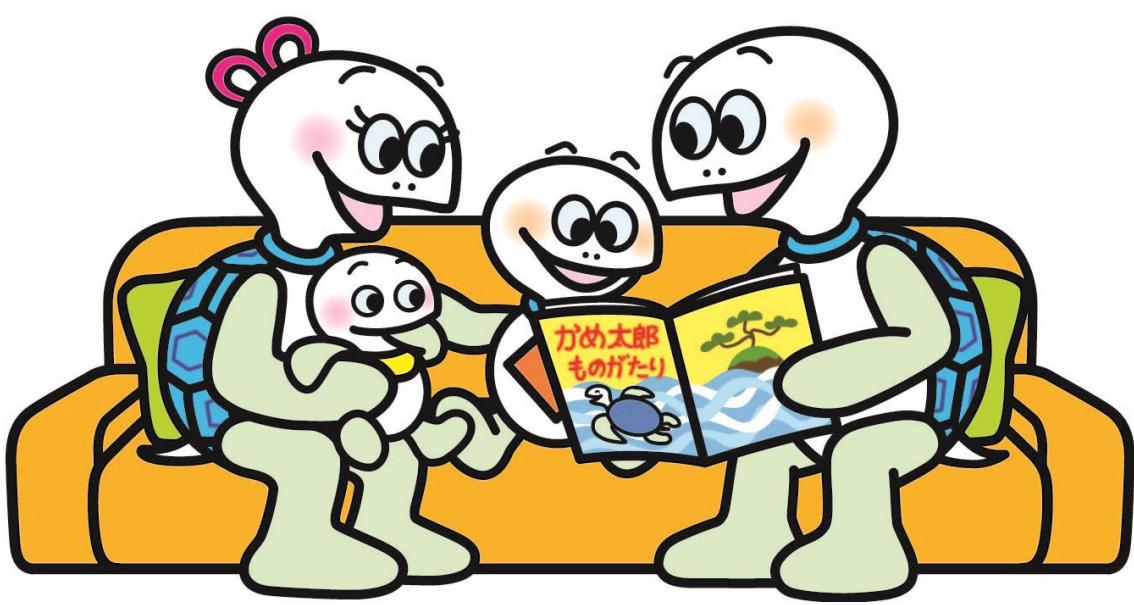
(2) 人権啓発事業

- ア 区職員向け研修
  - (ア) 責任職研修（全体：2回（7月）、グループ：各3回（8月～2月））
  - (イ) 職員対象研修（7回：11月～1月）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会（12/2 かなっくホール テーマ：依存症）

(3) 来庁者の利便性向上

- ア 庁舎周辺の清掃（128回/年）
- イ 窓口防犯対策物品の購入及び防犯対策研修の開催（3回/年）
- ウ 窓口及び待合スペース等の環境改善
- エ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付（4,800部）



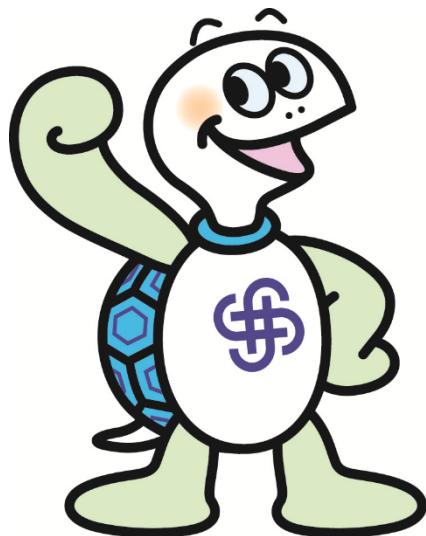


令和7年 第3回

# 区づくり推進横浜市会議員会議

令和7年度 個性ある区づくり推進費

執行状況



令和7年9月5日

神 奈 川 区

# 目 次

ページ

1 令和7年度 神奈川区編成予算総括 ・・・・・・・・・・・・ 1

2 令和7年度 神奈川区自主企画事業等執行状況 ・・・・・・・・ 3

## 令和7年度 神奈川区編成予算 総括

### 1 区別総括表

(単位:千円)

	7年度予算額	6年度予算額	差引
(1) 自主企画事業費	106,415	107,121	△ 706
(2) 統合事務事業費	51,342	48,578	2,764
統合事務費 ※1	29,488	26,563	2,925
統合事業費 ※2	21,854	22,015	△ 161
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	673,872	654,155	19,717
合 計	831,629	809,854	21,775

※1…局事業に係る事務費(人件費除く)

※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

### 2 内訳

(1) **自主企画事業費 106,415千円 (6年度107,121千円) 差引 △706千円**

(単位:千円)

区 分	7年度予算額	6年度予算額	差 引	増減理由
<b>3つの施策</b>				
I 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	21,210	23,493	△ 2,283	認知症理解促進動画の作成完了による事業費の減(高齢者支援事業)等
II 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり	40,135	36,316	3,819	・ボランティア団体への球根の配付数増(花と緑あふれるまちづくり事業) ・重点エリアの美化改善に向けた啓発強化による増(チャレンジ・ザ・かながわきれいなまちづくり事業)等
III 安全・安心なまちづくり	31,735	32,466	△ 731	窓ガラス飛散防止フィルム設置事業補助金を共助推進事業補助金に統合したことによる減(地域防災力向上事業)等
IV 信頼される区役所づくり	13,335	14,846	△ 1,511	窓口呼出システム切替完了による減(かながわデジタル推進事業)
合 計	106,415	107,121	△ 706	(28事業)

(2) **統合事務事業費 51,342千円 (6年度 48,578千円) 差引 2,764千円**

(単位:千円)

区 分	7年度予算額	6年度予算額	差 引
統合事務費	29,488	26,563	2,925
統合事業費(8事業)	21,854	22,015	△ 161
合 計	51,342	48,578	2,764

(3) **区庁舎・区民利用施設管理費 673,872千円 (6年度 654,155千円) 差引 19,717千円**

(単位:千円)

区 分	7年度予算額	6年度予算額	差 引
1 区庁舎	98,793	96,605	2,188
2 土木事務所	10,283	9,811	472
3 公会堂	38,768	37,449	1,319
4 地区センター、集会所、スポーツ会館	217,043	207,868	9,175
5 ログハウス	9,216	8,864	352
6 区民文化センター	124,708	120,713	3,995
7 老人福祉センター	28,074	27,029	1,045
8 コミュニティハウス	56,667	55,693	974
9 スポーツセンター	52,436	51,856	580
10 広場・遊び場	1,368	1,382	△ 14
11 国際交流ラウンジ	28,408	28,420	△ 12
12 区庁舎・区民利用施設修繕費	8,108	8,465	△ 357
合 計	673,872	654,155	19,717



## ～令和7年度 神奈川区自主企画事業～

### I いきいきと暮らせるまちづくり 21,210千円(6年度23,493千円)

- 1 かながわ子育てかめっ子支援事業 【重点】
- 2 高齢者支援事業 【重点】
- 3 障害者支援事業 【重点】
- 4 かながわ健康づくり応援事業 【重点】
- 5 かながわ安心子育て支援事業
- 6 市立保育所地域交流事業
- 7 放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業
- 8 民生委員・児童委員活動支援事業
- 9 ふれあい活動支援事業
- 10 地域活動支援事業

#### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局再配当）
- ② 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局再配当）
- ③ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局事業）
- ④ 自殺対策事業（健康福祉局再配当）
- ⑤ 市民の健康づくりの推進（健康福祉局再配当）
- ⑥ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑦ DⅤ対策事業（こども青少年局再配当）
- ⑧ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局再配当）
- ⑨ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局再配当）
- ⑩ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局再配当）
- ⑪ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ⑫ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

# 1 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,856千円（6年度3,832千円）

☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」を引き続き支援をするとともに、25周年を迎えるため、記念事業等を通じて活動の活性化と子育て世代の認知度向上に取り組みます。

## (1) すくすくかめっ子事業 【拡充】

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動

支援、担い手同士の交流（47会場）

ア 25周年記念事業

記念フォーラムの実施（1/25）と記念誌の発行

イ 担い手の確保にむけたパマトコや広報よこはま区版

での情報発信

ウ 全体交流会（6/30実施 参加者55人）

エ 方面別交流会（8/22, 8/28実施、9/29, 9/30実施予定）



親子のたまり場「すくすくかめっ子」



土曜日両親教室  
(抱っこ体験)

## (2) 土曜日両親教室

出産と育児に関する具体的な準備やイメージづくり、必要な知識に関する講話、先輩パパママの体験談等（年12回）

（7/31現在 4回実施 86組165人参加）

## (3) 赤ちゃんふれあい学級

区内中学校の生徒を対象に、思春期の性や自分の将来について考える包括的性教育と乳幼児ふれあい体験を地域子育て支援拠点とともに実施

（2校（松本中学校、神奈川中学校） 9月以降実施予定）

## (4) 養育ネットワーク事業

0歳児とその養育者を対象に地域育児教室を実施

（7/31現在 区内12か所 41回実施 延べ571組参加）

## (5) 子育て情報提供事業

子育て世帯に必要な情報を提供

ア 子育て応援マップ（7,000部）

掲載内容・デザインを見直し、エリアの情報が見やすいように冊子形態へリニューアルし、発行（9月配布開始予定）

イ 誤飲予防啓発うちわ（1,800部）

### ①こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局再配当）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を親子に勧めています。

**② 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局再配当）**

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。  
神奈川区内には「かなーちえ」（N P O 法人 親がめが運営）があります。

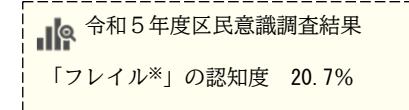
## 2 高齢者支援事業 3,019千円（6年度 3,723千円） ☆重点事業

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、健康維持に取り組む介護予防を進めます。また、認知症の人やその家族が自分らしく暮らしていくよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。

高齢者にとっても、あらゆる世代の方々にとっても住み続けたいまちとして、見守りネットワークを各地域で醸成し、地域包括ケアシステムを推進します。

※フレイルとは、からだとこころの機能が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態のことです。



### (1) 介護予防普及啓発事業

高齢化の進行と要介護認定者数のさらなる増加が予測される中、より多くの区民のみなさんが介護予防への関心を高めていけるよう取り組みます。

- ア 民間企業のノウハウを活用したフレイル予防講座を開催（野菜摂取量などの測定及び専門家によるアドバイス）（年4回）【拡充】

（ア）第1回：6/30 イオンスタイル東神奈川  
(参加者191人)

（イ）第2回：10/30 イオンスタイル東神奈川

- イ かめ亀手ぬぐいサイズ（神奈川区オリジナル介護予防体操）の活用普及  
ウ 普及啓発媒体の配布（神奈川区フレイル予防アクションマップ、シニア通信）

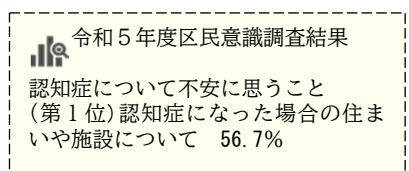


イオンスタイル東神奈川で行われた  
フレイル予防体験イベントの様子

### (2) 認知症高齢者支援事業

認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めます。また、認知症高齢者の介護者を支援します。

- ア 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及展開  
・登録勧奨（随時）  
イ 動画等による認知症に関する理解促進の取組  
ウ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配布（随時）  
エ 介護者の介護不安を軽減するため、公認心理師によるカウンセリングを実施（8件実施）（年10回、20件）【新規】  
オ 認知症月間神奈川区特別企画 講演会  
(9/23 神奈川公会堂)



みまもり協力店の目印となるステッカー

### (3) 地域包括ケア推進事業

横浜型地域包括ケアシステム※の構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、引き続き、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けて取り組みます。

※地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、住まいを中心に、介護、医療、生活支援・介護予防が一体的に提供される日常生活圏域ごとの包括的な支援・サービスの提供体制のことです。

＜見守り体制強化に向けた連絡会と会議の開催＞

ア 地域ケア会議連絡会（第1回：5月27日 参加者29人、第2回：2月予定）

イ 地域ケア会議開催に伴うアドバイザー派遣（随時）

③ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局事業）

・横浜市チームオレンジ事業

地域ケアプラザが中心となってコーディネートを行い、認知症の人や家族の希望や願いをもとに地域における取組を進めます。各地域でチームオレンジ※が増えることにより、認知症の人がさまざまな活動に参画する機会を拡大して、役割と生きがいを持って、安心して自分らしく暮らせる地域づくりにつなげます。

※チームオレンジとは、認知症の人や家族の希望や願い、困りごとの声をもとに、その実現や解決に向けた取組を、認知症の人や家族とともに地域住民や団体、企業、関係機関等が連携して進める「本人支援」の活動です。



### 3 障害者支援事業

1,543千円（6年度2,028千円）

★重点事業

高齢・障害支援課

自立支援協議会や神奈川区障害者地域作業所連絡会等と連携しながら、障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるよう、障害児者の理解を深める普及啓発や自主製品販売の促進に取り組みます。

#### (1) 障害者地域作業所等の活動支援

##### ア 花のデリバリー

フラワー アレンジメントの配達を委託（通年 48週）

##### イ 障害児者への理解を深める普及啓発

(ア) 区民まつりでの啓発(10月)

(イ) 市営バス車内デジタルサイネージを活用した障害者週間等での啓発（12月）

(ウ) 自主製品紹介ガイドブックの配布（随時）



区民まつりでの啓発



デジタルサイネージ  
「知ることからはじめよう ヘルプマーク」

#### (2) 障害者地域生活支援事業

地域で生活するために必要な情報の提供

ア 福祉制度や利用できる福祉サービスを紹介するリーフレットの作成（12月）【新規】

イ 障害児者地域生活ガイドブック「まちでくらす（一部更新版）」の配布（8月～）

#### (3) 関係機関との連携支援

精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

ア 関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催（年1回）

イ 神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催（障害者地域自立支援協議会各部会会議）

ウ 生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催（随時）

#### (4) ひきこもり状態にある人への支援

ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催（11/11（予定））

##### ④ 自殺対策事業（健康福祉局再配当）

自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みます。

## 4 かながわ健康づくり応援事業 2,194千円（6年度2,450千円）☆重点事業 福祉保健課

区民の健康寿命の延伸に向けて、世代や性別を問わず、区民に向けた健康啓発や行動変容を促すきっかけづくりを行います。区民が身近な場で健康づくりに取り組むことができるよう、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を図り、地域関係団体等と連携しながら活動を展開します。

### (1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業

（保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働）

#### ア ウォーキングマップの改訂

ウォーキングスタッフと協働し、区内6エリアのうち、

2エリアのウォーキングマップを改訂（3月）

#### イ 各種ウォーキングイベント

ウォーキングスタッフを対象とした研修（3月）、

区役所主催のウォーキングイベント「チャレンジ！秋のさわやかウォーキング」（9/8～10/5）、ウォーキングスタッフへの活動支援（随時）

#### 令和5年度区民意識調査結果

健康のために取り組みたいこと  
(第1位)週2回以上、1回30分以上の運動をする 47.8%



ウォーキングマップ及びイベント配布グッズ

### (2) 健康づくり推進事業

#### ア 働き・子育て世代の健康づくり

健康チェック・健康相談（年10回 4回実施、参加者117人）

や両親教室（年36回 9回実施）を通じた健康的な生活習慣の啓発を実施

#### イ 地域における健康づくり活動の支援

歯周病予防・オーラルフレイル※予防をテーマとした歯科出前講座の開催（年7回 5回実施、参加者79人）

※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態



健康チェック

### (3) 食育普及事業

#### ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進

栄養士、養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会（年2回）、食育展（年1回 6月9日～20日）の実施

#### イ 食育関連講座

（ア）学校等との協働による出前食育講座を実施（年2回 1回、7月2日実施）

（イ）ヘルスマイト等との協働による食育の普及（年3回 1回、5月12日実施）

（ウ）3歳児健康診査での食育ミニ講座（年24回 6回実施、参加者199組）



### ⑤ 市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

第3期健康横浜21に基づき、乳幼児期から高齢期まで継続した生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防や重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりに、市民、関係機関・団体、行政が共に取り組むことにより、誰もが健やかな生活を送ることができる都市を目指します。

育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援の強化や、個別の訪問・面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげます。また、職員一人ひとりのソーシャルワークを向上させ、複雑化していく事例への対応力を強化します。

#### (1) 児童虐待防止対策事業

虐待リスクのある対象者への支援

- ア 第1子を対象とした新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降への電話、家庭訪問等を実施
- イ 乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等のきめ細やかな支援  
**(ア及びイの訪問件数 計9件)**

#### (2) ファミリーサポート事業

養育に不安を抱える方に対し、心理士による個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防（月1回：**6回実施、延べ6人参加**）

#### (3) ひとり親家庭相談支援事業

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（月4回：**20回実施**）

#### (4) 虐待・DV対応に関する対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施

- ア DV事例のスーパーバイズ（年2回）：**11月、1月予定**
- イ 虐待事例のスーパーバイズ（年1回）：**1月予定**
- ウ DV・虐待事例の法律相談（年6回）：**5/12、7/7実施**

#### ⑥ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

#### ⑦ DV対策事業（こども青少年局再配当）

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

#### ⑧ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局再配当）

養育環境に課題がある子どもを対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施します。

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

#### (1) 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食（200食程度）、地域の親子を対象にランチ交流（100食程度）を実施します。

#### 令和5年度区民意識調査結果

地域で子どもを育てる世帯を支えるために重要なこと ※子育て世代的回答

(第1位) 地域の中に子どもが安心して遊べる場所があること 62.0%



地域の親子を対象にしたランチ交流の様子

#### (2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施します。

#### (3) 保育施設等情報パンフレット配布

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布します。  
(10,000部)

#### (4) 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会等を行い、保育の質の向上を図ります。

#### (5) 防災意識向上推進事業

新設園等に「てくてくまっち®※」を配布するとともに、市立保育所で開催するまち歩きに民間園の職員の参加を呼びかけ、職員や未就学児等の防災意識強化を図ります。

※てくてくまっちとは、神奈川区と横浜市立大学等が協働で開発した、乳幼児期の子どもと施設の職員が日常の活動の延長線上で防災・減災の視点からまちの資源と活用方法を学べる教材のことです。

#### ⑨ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局再配当）

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やします。

#### ⑩ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局再配当）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

#### ⑪ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

##### 【令和6年9月開所】

- ・ミアヘルサ保育園ひびき羽沢横浜国大（羽沢南） 定員59人

##### 【令和7年4月認可移行】

- ・クルミ保育園（高島台） 定員60人

## 7 放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業 382千円（6年度753千円）

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの現場職員等を対象に、各クラブの人材育成を図るとともに、クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施します。

### (1) 集合研修

研修名	対象者	内容	実施時期
養育支援	現場職員	児童虐待等への対応	7月
普通救命	現場職員	救急対応	10月
事故対応	現場職員 運営主体	施設の安全管理や事故対応	12月
災害対応	現場職員 運営主体	災害時の対応	3月

### (2) 出前研修（3テーマ、計6クラブ程度）

研修名	対象者	内容	実施時期
クレーム対応、安全管理、コミュニケーション	現場職員 運営主体	クレームとの関わり方、施設の安全管理や災害時の対応、現場職員間の円滑なコミュニケーションの図り方	9月～ 12月

«放課後児童健全育成事業クラブ数（令和7年8月末現在）»

放課後キッズクラブ18か所、放課後児童クラブ17か所

### ⑫ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を実施します。

## 8 民生委員・児童委員活動支援事業 998千円（6年度939千円）

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

### (1) 訪問活動の支援

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を配布  
(バイオグリーン持ち手付ポリ袋（5枚入） 8,500個)

令和5年度区民意識調査結果

近所の助け合いとしてあるとよいと思う手助け  
(第1位)声掛けや安否確認 34.6%

### (2) 広報

民生委員の役割や活動内容等をPRする広報紙を、区民まつり等で地域に配布

## 9 ふれあい活動支援事業 2,014千円（6年度2,014千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

### (1) 全体研修会

ふれあい活動員全員を対象とする研修会（11月）

### (2) ふれあい活動支援

ふれあい活動支援補助金の交付

#### ⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者情報を見守り活動等につなげます。

『令和7年度名簿に新たに掲載（追加）された方』

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,337人

新たな75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 1,468人

※訪問は、これまで75歳以上の（単身・複数）世帯の方を対象としていましたが、令和7年度は、試行的に訪問対象年齢を引き上げ、名簿のうち80歳以上の世帯の方（326人）に対して訪問します。（名簿は75歳以上の世帯の方の情報を掲載）

## 10 地域活動支援事業 3,160千円（6年度3,164千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

### (1) 自治会町内会長感謝会

- ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表すため年1回実施（**2月**）
- イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（**2月**）

### (2) 自治会町内会活動支援事業

自治会町内会配達業務

各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）会長あての資料や掲出依頼物などを配達

### (3) 自治会町内会加入促進事業

- ア 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布、また地区連合の自主イベント等における参加者配布用に提供
- イ 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援



## II 魅力あふれるまちづくり 40,135千円（6年度36,316千円）

- 11 地域福祉保健活動推進・支援事業 【重点】
- 12 地域力アップ推進事業 【重点】
- 13 花と緑あふれるまちづくり事業 【重点】
- 14 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 【重点】
- 15 かながわ脱炭素化推進事業 【重点】
- 16 神奈川区制100周年事業 【新規】
- 17 情報・魅力発信事業
- 18 まちづくり推進事業
- 19 わが町かながわ商店街魅力発信事業
- 20 神奈川区資産「わが町かながわとておき」活用事業
- 21 神奈川区民まつり事業
- 22 区民活動・生涯学習支援事業
- 23 動物適正飼育推進事業

### **自主企画事業費以外で実施する主な事業**

- ⑯ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業事業（みどり環境局再配当）
- ⑰ 神奈川台場のデジタル技術（VR/AR）による保全・活用（都市整備局、にぎわいスポーツ文化局、教育委員会事務局事業）
- ⑯ 商店街活性化イベント助成事業（経済局再配当）
- ⑰ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ⑱ 横浜市地域猫活動支援事業（医療局事業）
- ⑲ 猫の不妊去勢手術推進事業（医療局事業）

## 11 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,572千円（6年度4,282千円）

☆重点事業

福祉保健課

「かながわ支え愛プラン（第4期 神奈川区地域福祉保健計画）」を推進するため、計画の周知を重点的に行うとともに、活動の情報共有や毎年の振り返りなど、地域の実情に合わせた支援方法を関係機関と協働して検討していきます。あわせて、かながわ支え愛プラン策定・推進会議の委員のご意見や区計画中間振り返りの内容等も踏まえて、第5期神奈川区地域福祉保健計画（期間：令和8年度～12年度）を策定します。

### （1）区計画の推進及び策定（※）

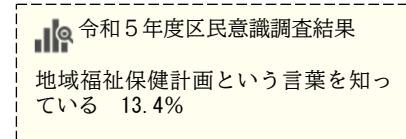
#### ア 区計画の周知

- （ア）ホームページ上の特設サイトや地域情報誌において、動画や写真を活用した地域活動の広報
- （イ）5期計画冊子及び概要版などの版下作成、印刷（2月）
- （ウ）小中学校等での出前教室等による計画の普及啓発強化

【新規】（幸ヶ谷小（5月）・羽沢小（5月））

#### イ 区計画の推進及び策定

- （ア）区計画の推進及び策定に向けた意見交換の場となる「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（年2回）
- （イ）計画策定アドバイザーを活用した推進方法の検討
- （ウ）計画素案に対する区民意見募集の実施（8月頃）
- （エ）区計画の策定（通年）



かながわ支え愛プラン  
(第4期地域福祉保健計画)

### （2）地区別計画の推進及び策定（※）

- ア 地域活動を推進するための会議や研修会等へのアドバイザー派遣
- イ 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による地区支援
- ウ 各地区において、取組の達成度合いや課題を共有し、今後の進め方について話し合う  
地区別計画推進会議などの開催を支援（地区ごとに年2～3回）
- エ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月）
- オ 地区別計画の策定（通年）

#### 【スケジュール】

- 区民意見募集 令和7年8/1～9/1
- 計画確定 令和7年12月
- 冊子の配布・周知 令和8年2月から

## 12 地域力アップ推進事業 2,600千円（6年度 3,117千円） ☆重点事業

### 区政推進課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため、人材を育て、地域活動を支援します。

#### (1) 地域づくり大学校支援事業

自治会町内会等の地域団体による活動の体験型講座を加えるなど一部内容を見直し、地域活動を担う人材の育成に取り組みます。今年度から名称を「神奈川区つながりまちづくり学校」として実施します。

また、卒業生を対象に新たな取組への補助を行います。

##### ア 全5回の連続講座の実施

（座学+現場体験、受け入れ団体：10団体程度、10月～）

ホームページへの講座報告の掲載（随時）、

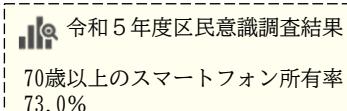
地域づくり大学校交流会の開催（2月）

##### イ かながわ地域支援補助金事業

（地域づくり大学校卒業生支援コース）



令和6年度地域づくり大学校の様子



#### (2) 自治会町内会ICT支援事業

自治会町内会等のみなさまに向けて、現在の地域課題やデジタルツール活用による解決の可能性を学ぶとともに、自治会町内会同士の交流機会となる連続講座を開講します。

##### ア デジタルツールの紹介、体験談や先進事例の共有を含む連続講座の開催（8/24・9/6）

イ デジタルツールの導入を希望する地域へのアドバイザー派遣（対象：5団体程度 10月～）



令和6年度自治会町内会ICT支援事業での勉強会の様子

#### (3) 区民協議会支援事業

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動報告に対して支援を行います。

6/16 総会 解散決定

6/28 第21期 区民のつどい これまでの歩みと活動の成果（参加者150人）

### 13 花と緑あふれるまちづくり事業 4,977千円（6年度3,041千円）

☆重点事業

土木事務所

子育てしたいまちづくりやGREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運醸成を図るため、道路・河川・公園・緑地等を管理するボランティア団体と協働し花や緑あふれるまちづくりを進めます。

また、公園や愛護会活動のホームページやSNSによる広報、子どもと愛護会が連携した花壇づくり、ボランティア団体相互の交流などを拡充、促進し、区民が公園等で花や緑に触れる機会を増やすとともに、ボランティア団体の新たな担い手の確保、活動の活性化につなげます。

#### 花苗・球根の配布

ボランティア団体と協働で花苗・球根の植栽や花壇を整備し、公共施設の維持管理に多くの区民が積極的に関わる機会をつくります。

- ア ボランティア団体（公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター）への花苗や球根の配布（5/22、5/23及び6/20に136団体へ8,064株を配布、10月に花苗球根配布予定）



公園花壇

#### (2) 公園及び愛護会活動のPR【拡充】

公園や愛護会活動のPR及び子どもと愛護会が連携した花壇づくり等により、公園利用や花と緑に触れる機会を増やし、愛護会活動の新たな担い手の確保につなげます。

- ア ホームページの公園マップに、各公園の景観や愛護会活動の様子等を掲載し、コンテンツを拡充します。また、SNSで各公園の魅力を発信します。



愛護会と小学生の連携（打越公園）

イ 令和5年度から実施している愛護会と小学校等が連携した花壇づくりについて、区内の新たな地域で、外部講師による花や緑に関する専門的な出前授業等を、拡充して開催します。

- （青木小学校：社会学習の一環で反町公園での花壇づくりの検討を開始（7月）、菅田の丘小学校：SDGs教育の一環でコンポストを用いて堆肥を作成（5月～7月））

#### (3) ボランティア団体の交流の促進

ボランティア団体の育成や活動の活性化を促進します。

- ア ボランティア団体相互の好事例の共有、講習による技術やモチベーションの向上、土木事務所との連携強化を目的とした交流会を実施します。

## 14 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 2,820千円（6年度1,320千円）

★重点事業

地域振興課

SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない持続可能な社会を作るため、ごみと資源の分別徹底及びプラスチック対策、食品ロス削減等の3Rを推進します。

また、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指すため、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援を実施します。

### (1) 3R啓発事業

#### ア 地域まつり等での啓発

イベント：6/14 イオンスタイル東神奈川他 2回予定

説明会等：5/21 環境事業推進委員連絡協議会他 5回実施

#### イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発

ウ 保育園や小学校等での出前授業（5回：小学校3回 保育園2回 約340名参加）

エ 広報よこはま区版・ホームページ等を活用した啓発（5月、8月号掲載4回予定）

オ 功労者の表彰（6/18：個人8名・1団体）

カ フードドライブの推進（1,497点 467.7kg）

キ リユース文庫コーナーの管理運営（配架405冊）

### (2) 地域美化活動支援事業

#### ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援

清掃用具貸出（11件）、地域清掃への参加（16回）

#### イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」

地域、学校、事業者と協働で実施（9月24日（水））

・会場：東神奈川、新子安、羽沢横浜国大駅、

神奈川大学横浜キャンパス

・若い世代の意識醸成

（大学生の参加（横浜国立大学、神奈川大学））

#### ウ 重点エリアのポイ捨て・環境美化の推進（通年）

新子安駅周辺の対策強化

・地域、地元企業と連携した清掃・啓発活動の拡充（11/5、2/4）

・子ども絵画の掲出等による周辺環境の改善

※局予算によるパトロール強化も実施

エ 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発（6/2、8月、10月、12月、2月）

オ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発

・片倉町駅（6/5、9月、12月、3月）

・大口駅（5/13、7/8、9月、11月、1月、3月）



わが町かながわマナー違反一掃作戦

### (3) 不法投棄防止対策事業

#### ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）

#### イ 地域と連携した不法投棄への対応（通年）

## 15 かながわ脱炭素化推進事業 1,844千円（6年度2,180千円）☆重点事業

区政推進課

横浜市中期計画（2022-2025）基本戦略3「Zero Carbon Yokohamaの実現」に向けて、区民に環境行動の重要性を啓発するとともに、脱炭素ライフスタイルへの行動変容を促す取組を推進していきます。

### （1）脱炭素ライフスタイル啓発事業

#### ア 脱炭素ライフスタイル講座

神奈川大学との連携による子ども向け啓発イベント実施

- ・ソーラーカー工作ワークショップ（8/16午前 13組26名参加）

- ・こけ玉づくりワークショップ（8/16午後 11組22名参加）

#### イ S D G s をテーマとした区内企業の取組紹介ツール更新・活用促進

#### ウ 区民まつりで脱炭素の行動変容の啓発を実施

- ・脱炭素の取組を発信するエリアの設置

- ・CO<sub>2</sub>排出量の見える化ツールを活用した啓発ブースを設置し、ステージ企画等と合わせて来場者へ啓発を実施

- ・電気自動車からステージ等の電力を給電

#### エ 広報媒体への脱炭素ライフスタイル啓発記事の掲載

（2回）

#### オ E C Oパートナー協定に基づく横浜F Cとの協働事業の実施（8/30）

（かながわ区民D A Y及びE C Oパートナード A Y出展）



かながわ野菜市の様子

### （2）地産地消推進事業

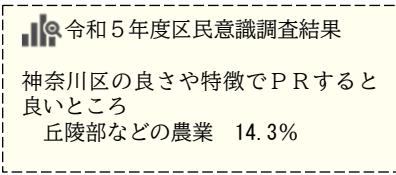
#### ア 区内産野菜等の出張販売の実施（5/12、8/30、

11/13（予定）協力：J A横浜メルカートかながわ）

- ・野菜、花苗の販売

- ・直売所マップやレシピ集などを活用した地産地消の情報発信

#### イ 地産地消サポート店参加に向けた広報活動



## 16 神奈川区制100周年事業 1,200千円（6年度 一千円）☆新規事業

令和9年（2027年）の区制100周年に向けて、記念事業実施に向けた準備及び機運醸成に取り組みます。（準備会設置：5月、実行委員会設置予定：11月）

- ・区制100周年区民アンケート（6/25～8/31）

- ・区制100周年ロゴの作成 原案（11月）、区民意見募集（1月頃）

区の取組や区政情報を、各種媒体を使って効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、神奈川区の魅力を創出・発信します。

#### 各種媒体の特性を活かした情報発信

- ア ホームページ、X（旧Twitter）、屋外看板や府内モニター等、媒体の特性を活かした情報発信

#### (2) 区のマスコットキャラクター・区の花の活用

神奈川区のマスコットキャラクターや区の花を広報やその他の場面で活用し、親しみやすさにつなげます。



- ア 区のマスコットキャラクター活用事業  
「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供  
バルーンタイプの着ぐるみを作成予定

- (イ) 区の魅力PR用物品の制作

- イ 区の花チューリップいっぱい事業

令和6年度チューリップ写生画展  
(神大寺地区センター)

- (ア) 区の花「チューリップ」写生画展 (21校 3,611人参加)

区内小学生対象、受賞作品を区内公共施設等で展示

(8/1~12 神大寺地区センター、8/13~22 神之木地区センター)

- (イ) 区内私立小学校に区の花「チューリップ」の球根を配布予定 (10月)

- (ウ) 区民向けに球根を配布・育成してもらい、区の花チューリップの普及啓発を実施  
(10~11月予定)

#### (3) 歴史活用事業

- ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施 (11月)

- イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報  
(通年)

- ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新 (通年)

#### ⑯ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業事業 (みどり環境局再配当)

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配布します。

#### ⑰ 神奈川台場のデジタル技術（VR/AR）による保全・活用（都市整備局、にぎわいスポーツ文化局、教育委員会事務局事業）

神奈川区の歴史的資産である神奈川台場について、公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協会と協定を締結し、公民連携によりARやVR、郷土学習映像を作成しています。東高島のまちづくりの促進をはじめ、区民の認知度向上や、来訪意欲の喚起を図る等、神奈川区の魅力の発信に取り組んでいきます。

## 18 まちづくり推進事業 3,666千円（6年度 3,873千円）

区政推進課

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちを実現します。

令和5年度区民意識調査結果

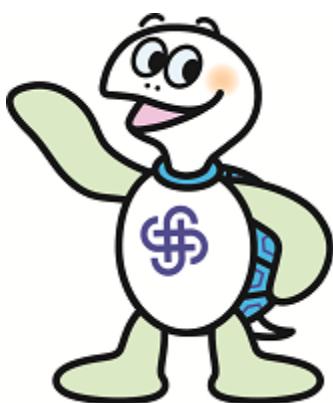
神奈川区に【住み続けたい】 82.3%

### 企画調整・まちづくり事業

「住みたい」「住み続けたい」まちづくりの施策に活かしていくことを目的に、これまでの調査データの分析結果をふまえた区の課題を検討します。

### 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。



## 19 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,930千円(6年度1,900千円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図ります。

### 商店街ラリー事業

GREEN×EXPO 2027開催にちなんで、「花」にまつわる商品を扱う店舗を巡るスタンプラリー（神奈川区商店街花ラリー）を開催します。併せて、昨年誕生した神奈川区商店街キャラクター「かごにゃん」のポスターが貼ってある店舗もスタンプラリーの対象として開催します。

- (1) 開催予定：11月～1月
- (2) 参加予定店舗数：「花ラリー」約24店舗、「かごにゃんを探せ！」約70店舗



おやつラリーガイドブック  
(令和6年度商店街ラリー)

### 【参考】

#### 商店街と花マップ及び、商店街キャラクター（かごにゃん）の活用

令和6年度経済局の区局間連携魅力ある商店街づくり事業で作成した、商店街と花マップ及び、商店街キャラクターについて、区役所と商店街で活用することで、商店街の魅力発信に取り組みます。



【令和6年度】  
商店街と花MAP  
商店街及び区民利用施設  
にて配布



【令和7年度】  
商店街キャラクター活用事例  
アイスコーヒーボトル  
令和7年4月発売

### ⑯ 商店街活性化イベント助成事業（経済局再配当）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

### ⑰ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図ります。

## 20 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

1,920千円（6年度1,920千円）

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みます。

### (1) 神奈川区資産の活用

ア 「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベントの開催支援等

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々で組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援

(ア) 専用ホームページを更新し、「散歩ガイド」やイベント情報等、神奈川区の魅力を発信

(イ) 小中学生お弁当コンテストや神奈川区内の魅力を発信する企画を実行委員会で協議の上  
実施

### (2) 「わが町 かながわ とっておき」写真コンテスト

ア 写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

「海と緑と丘のまち神奈川区」の魅力を表現する写真を小中学生、一般部門と併せて、GREEN×EXPO 2027開催に向けて、新たに花・緑部門を設けて募集し、入賞作品を用いた魅力発信を行います。（8月～3月）

イ 看板の維持管理

「わが町 かながわ 50選」案内看板の現況確認を実施し、必要に応じて補修を行い、適切に維持管理します。

## 21 神奈川区民まつり事業 4,000千円（6年度4,000千円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川区民まつりの開催を支援します。また、区民まつりの場を活用して、脱炭素、GREEN×EXPO 2027の機運醸成等にも取り組みます。

(1) 実行委員会や各運営部会との連絡調整

(2) 会場等の利用支援

(3) 開催日：令和7年10月12日（日）午前10時から午後3時30分まで

(4) 開催内容：各種団体によるブース出店（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）、ステージプログラム等



開会式の様子（令和6年度）



ブース出店の様子（令和6年度）

文化・スポーツ・青少年育成等の区民活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指します。区民活動支援センターは区域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。

### (1) 生涯学級事業

地域課題に関心を持って自主的に学び取り組むきっかけをつくるとともに、地域活動の中核となる区民を増やすことを目指し、「生涯学級運営委員会」の活動を支援します。

ア 生涯学級運営委員会が企画運営する区民向け連続講座  
 (3講座。R7年度のテーマ：「子育て中の親のつながり作り」「地域に根差した国際ボランティアの輪を広げる」「身近な企業・環境を知る」)

イ 生涯学級運営委員対象のスキルアップ講座・交流会  
 (3回実施 5/23、6/23、6/30参加者のべ50名)



「多文化共生への理解促進と  
ボランティアの発掘」  
ゼロからはじめる多文化共生

### (2) 区民活動支援センター事業

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民による活動や生涯学習を支援します。また、区域の中間支援組織として地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。

ア 相談・支援等

(ア) 地域での活動に関心のある人、地域で活動している個人・団体等からの相談への対応

(イ) 助っ人バンク(人材バンク)等を活用した地域の様々な主体をつなぐコーディネートやネットワークづくり  
 (ウ) 登録者・団体の活動発表及び、地域への周知・活用のきっかけの場としての「みんなの文化祭」の開催(4回予定)

イ 情報発信

ホームページやSNS、広報よこはま区版を活用した情報発信

ウ 人材の発掘・育成・活用

(ア) 「地域デビュー講座」を開催(現時点1講座予定)  
 (イ) 登録団体等対象の交流会(2回予定)

エ 地域施設間連携

(ア) 地域の課題や魅力・情報の共有などをを行うため施設間連携会議の開催(2回予定)  
 (イ) 施設間連携プロジェクト  
 (ウ) 地域エリア別会議の開催など

オ かながわ湊フェスタ支援(11月2日)

複数の活動団体からなる実行委員会が企画・運営する「かながわ湊フェスタ」の開催を支援します。多くの活動団体が参加することで、団体同士の連携、新たな地域人材の発掘につなげるほか、神奈川区の人やまちなど多面的な魅力を発信します。

### (3) 文化活動支援事業

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援します。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させます。

#### ア 文化協会支援

##### (ア) 区伝統芸能祭

民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい（10月）

##### (イ) 区民音楽祭

コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会（協会共催）（8月～11月）

##### (ウ) 区文化展

洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、茶道の発表会（2月～3月）

##### (エ) 春のコンサート（3月）

##### (オ) ちいさな美術館（7月～12月）

#### イ 読書活動推進

##### (ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会等の開催（1月）

##### (イ) 読書活動関係機関連絡会（7月実施・2月予定）

#### 令和5年度区民意識調査結果

地域で参加してみたい活動  
(第1位) スポーツや健康づくりの活動への参加や振興 14.5%

### (4) スポーツ振興事業

種目別団体による自主的な活動を通じて、区民が生涯を通じてスポーツ活動を楽しみながら健康増進・体力づくりができるよう、区スポーツ協会を支援します。また、トップスポーツチームと連携した事業を実施します。

#### ア 区スポーツ協会支援

（競技団体数16、事業数79（区民大会60、交流会等19）

#### イ トップスポーツチームとの連携

神奈川区にゆかりのあるトップスポーツチームと連携しスポーツ観戦企画を実施

（横浜キャノンイーグルス、横浜ビー・コルセアーズなどとの観戦企画を予定）

### (5) 青少年育成事業

子どもや青少年がいきいきと活動し活躍できる機会をつくるため、子ども会育成連絡協議会が行う事業や研修、青少年の自主的な音楽やダンス等を広く披露する場をつくり、地域の活力の向上、青少年の健全育成を目的とするイベント「B-SKY FES」の開催を支援します。

#### ア 子ども会育成連絡協議会支援

青少年向け事業や青少年育成者研修事業への支援

#### イ B-SKY FES支援

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント「B-SKY FES」の開催支援（9/7開催予定・23団体参加予定）

## 23 動物適正飼育推進事業 214千円（6年度229千円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

### (1) 犬猫の適正飼育啓発事業

- ア 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場や窓口等で配布  
啓発チラシ：800枚、マナープレート：200枚、啓発用トイレパック：1,000パック
- イ 福祉関連部署との連携による多頭飼育問題への早期発見や不適正飼育の予防
- ウ 広報よこはま区版等での啓発

令和5年度区民意識調査結果

地域猫の認知度 34.7%

### (2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ア 不妊去勢手術実施の支援等  
飼い主のいない猫を起因とするトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布やセミナーの開催及び神奈川区猫ボランティアの派遣等
- イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器を貸出
- ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- エ 飼育管理が不適切な猫の飼い主への対応  
飼い主のいない猫の増加の原因になっているため、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導
- オ 広報よこはま区版等での啓発

#### ⑧ 横浜市地域猫活動支援事業（医療局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサやふん尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。

登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をします。

#### ⑨ 猫の不妊去勢手術推進事業（医療局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成します。

### Ⅲ 安全・安心なまちづくり 31,735千円（6年度 32,466千円）

- 24 地域防災力向上事業 【重点】
- 25 神奈川区防犯対策事業
- 26 交通安全対策事業

#### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑯ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ㉑ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ㉒ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ㉓ 管理不足空家等の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ㉔ 横浜市シェアサイクル事業（道路局事業）
- ㉕ 青木小学校の不足教室対策（教育委員会事務局事業）
- ㉖ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（下水道河川局事業）
- ㉗ 横浜駅周辺地区における下水道整備（下水道河川局事業）
- ㉘ 公園再整備・施設改良事業（みどり環境局再配当）
- ㉙ 道路維持修繕事業（道路局再配当）
- ㉚ 道路改良事業（道路局再配当）

## 24 地域防災力向上事業

23,200千円（6年度23,681千円）

☆重点事業

総務課

福祉保健課

高齢・障害支援課

生活衛生課

安全・安心なまちづくりの実現に向け、防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進します。特に「次世代につなぐ防災」を主な取組テーマとして、子どもたちや子育て世代への防災啓発を進めます。

あわせて、地域、医療機関、民間事業者等と連携して地域防災力の向上を図ります。

### (1) 地域防災力の強化

#### ア 自助の推進

- (ア) SNS等を活用した防災情報の発信
- (イ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等
- (ウ) 防災アドバイザー派遣事業（1団体20名）

#### イ 共助の推進

##### (ア) 地域防災拠点の機能強化【拡充】

- a 運営マニュアルの改訂支援、地域防災拠点の環境備（備蓄庫の修繕等）、地域防災拠点だよりの発行
- b 要援護者をテーマとした実践的なモデル訓練の実施  
地域防災拠点での要援護者の受け入れや福祉避難所の開設・受け入れ等の訓練を区本部各班との情報受伝達を行なながら実施します。

（9/6、中丸小学校地域防災拠点・片倉三枚地域  
ケアプラザ（福祉避難所））

#### (イ) 共助推進事業

町の防災組織が実施する防災活動、防災資機材購入等にかかる費用補助

#### ウ 次世代につなぐ防災

##### (ア) 防災教育による担い手育成【拡充】

- a 小学生を対象に防災食の試食やエアマットを用いた一人分のスペース確認等を通じ、避難所の理解促進を図るため「神奈川区防災デイキャンプ」を実施（9/20、横浜市民防災センター）

- b 区内中学校との情報共有や連携を強化し、学校の実情に応じた防災教育を実施（1校1回）

#### (イ) 子育て世代に向けた啓発の取組

- a 乳幼児子育て世帯向け家具転倒防止普及啓発事業  
出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう  
家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布



防災情報をX (旧Twitter) にて発信



小学校での防災出前講座

- b 地域育児教室と連携した防災啓発（5か所44組）  
区内12か所で実施している地域育児教室に出向き、乳幼児向けの防災備蓄の重要性や在宅避難に向けた自宅の防災対策について啓発を実施（地震ブレーカー、家具転倒防止器具、備蓄の拡充）



#### 【参考】地震ブレーカーの設置推進について

<設置推進事業（局事業）の助成申請数>（令和7年7月末時点）

神奈川区 228件/全体 1406件

#### <普及啓発>

- ・地域育児教室と連携した防災啓発【再掲】
- ・防災イベントでのデモ機展示（6/14市民防災センター）
- ・感震ブレーカー相談会の実施（8/5公会堂、9/29神大寺地区センター）
- ・区庁舎サイネージでの動画放映
- ・X（旧Twitter）による発信
- ・広報よこはま9月号防災特集
- ・総務課窓口でのデモ機展示

### （2）区役所災害対応力の強化

#### ア 職員向け訓練・研修

- (ア) 転入職員向け研修、即応班研修（4/14）
- (イ) 風水害避難場所運営訓練（6/4）
- (ウ) 地域防災拠点参与等研修（6/6）
- (エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月）
- (オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月）
- (カ) 区本部各班訓練



風水害避難場所運営訓練

#### イ 区本部運営に必要な物資やマニュアルの整備

区本部マニュアル改訂支援の実施及びファーストミッションボックスの作成

### （3）医療初動体制の整備

#### ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川区災害医療連絡会議（10月、12月）

#### イ 災害医療の訓練や区民啓発

- (ア) 区災害医療訓練（11月）

参加予定機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会



区災害医療訓練

災害拠点病院（横浜市立市民病院）

災害時救急病院 8か所

横浜市災害支援ナース

- (イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練

練（8月、10月、12月、2月）

- (ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発

(エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練（11月）協力機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会

- (オ) 広報よこはま区版で横浜市災害支援ナース募集（11月）

#### (4) 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図ります。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援します。

ア 新規協定締結の促進 〔令和7年8月末現在 名簿提供団体：111団体〕

(ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）

(イ) 名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（8月、9月）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

#### (5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザ等）の運営体制を確保します。

〔令和7年8月末現在 福祉避難所 協定締結数：25施設〕

ア 福祉避難所の運営支援等

(ア) 福祉避難所協定締結施設向け連絡会・福祉避難所情報共有システム情報受伝達訓練（10月）

(イ) 福祉避難所の備蓄品等の追加整備（12月）

イ 地域防災拠点との連携・啓発【新規】

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会において、福祉避難所について啓発（5/13）

(イ) 福祉避難所運営・開設訓練（9/6、片倉三枚地域ケアプラザ・中丸小学校地域防災拠点）【再掲】

#### (6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発

(イ) 「災害時のペット対策～ペットとの同行避難ガイドライン～」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援

(ウ) 具体的な対策の検討を進めている拠点数か所に対して、必要に応じて専門家のアドバイスを得ながら各拠点での一時飼育場所運営に係るルールづくり等のサポートやペット対策用スターターキットの配布による支援

(エ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施

(オ) 専門家等による講演会の実施（7/4 参加者21名、区役所）

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知

地域防災拠点や区民まつり等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施（1拠点）



### 地域防災拠点でのパネル展示・説明及びペット同行避難訓練

ウ 日ごろからの備えとして、「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」及び「神奈川区動物病院マップ」を区役所窓口等で配布



神奈川区動物病院マップ

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進します。

**(1) 住みよいまちづくり活動助成（21地区連合町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・3R推進活動支援）**

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、活動助成金を交付

（7月～9月 交付予定：21団体 計2,501千円）

**(2) 防犯活動啓発事業**

ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信（通年）

イ 広報よこはま区版等による防犯啓発（7月、8月、11月、3月）

（7月：闇バイト、8月：夏休み子ども防犯啓発、11月：詐欺・刑法犯罪、3月特殊詐欺）

ウ 地域での防犯活動に必要な物品（帽子・ベスト・のぼり旗等）の貸与・配布（通年）

エ 防犯キャンペーン（10月）

オ 自治会町内会等への防犯啓発チラシ配布（4月）

カ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発（通年）



特殊詐欺啓発のぼり旗



啓発チラシ



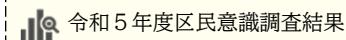
痴漢撲滅キャンペーン

地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発を行います。また、路側帯のカラー化などの児童通学路の安全確保に必要な対策を、道路管理者である土木事務所と連携して行います。

区内駅周辺での放置自転車等の減少に向け、区内駅周辺の自転車等放置禁止区域内での地域による啓発活動を行います。

**(1) 自転車マナーアップ事業**

自転車利用のマナーアップ啓発（通年）



住まいの環境にとって重要な項目  
(第3位) 道路・歩道の安全性 35.5%

**(2) 自転車等放置防止推進協議会への助成**

各禁止区域の協議会に対する活動費助成（4月～6月 交付予定：5団体 各50千円）

**(3) 交通安全啓発事業【拡充】**

ア 交通安全教室啓発（4月～6月、11月）

希望する小・中学校及び自治会町内会を対象に実施  
(小学校19校、中学校2校、自治会町内会)

イ 交通安全チラシおよび啓発物品の配布（通年）

ウ 広報よこはま区版を活用した啓発  
(4月、5月、8月、12月)

エ 警察と連携した交通安全啓発キャンペーン（通年）



親子三代自転車教室



警察と連携した交通安全啓発キャンペーン



スクエードストレイトでの交通安全教室(中学校)

**(4) 神奈川区交通安全対策協議会（事務局）**

ア 神奈川区交通安全対策協議会開催（5月）

イ 交通安全功労者表彰（5月 個人：5名・団体：5団体）

**(5) 児童通学路整備事業**

ア スクールゾーン対策協議会活動の支援  
(交付予定：17団体 各20千円)

スクールゾーン対策協議会（7月～9月）

イ 通学路内の路面標示の補修（通年）

**(6) 交通安全対策工事**

路面標示・標識の設置、補修等（通年）



通学路 路面標示の補修

㉚ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備が行われてきましたが、再開発建物は、令和6年3月に竣工し、6月20日に商業、ホテル等がグランドオープンしました。

また、交通広場については、令和7年3月3日に供用開始しました。

令和7年度末には、約8年に及ぶ再開発事業が完了する予定です。

㉛ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

平成30年度に土地区画整理組合が設立認可され、埋立工事を含めた区画整理工事を進めています。

令和6年度までは、迂回路整備や護岸工事などの基盤整備、地区内の水域の埋め立てを進めました。

令和7年度は、新設橋梁の架設、鉄道施設の撤去・移設、地区外の踏切拡幅など、引き続き基盤整備を進めます。

㉜ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

地震火災における被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを実施しています。また、浦島町地区、六角橋商店街地区及び白幡上町地区等における協働による防災まちづくりを継続して進めます。さらに、令和7年3月に刷新した「新たな横浜市地震防災戦略」に連動し、地震火災からの逃げやすさを向上させる建築物開口部不燃化改修補助の新設や、地域と協働でつくる防災型公園の整備、自治会等が整備する防災広場や防災施設への補助の対象地域を全市に拡大するなど、地震火災対策にかかる取組をより一層強化していきます。

㉝ 管理不足空家等の防止・解消対策の推進（建築局事業）

令和6年3月に「第3期横浜市空家等対策計画」の策定をしており、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不足空家等の防止・解消の3つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めます。

令和4年度は、所有者調査委託等の従前の取組に加え、区が行う管理不全な空家等の初期対応の委託をモデル実施しました。

令和5年度は、初期対応の委託を全市展開し本格実施することで、より効率的かつ有効な管理不全な空家等の解消の取組を進めました。

令和6年度は、改正法で新設された管理不全空家等について、本市の運用の検討を進めました。

令和7年度は、空家の管理代行事業者を募集し、自身での管理が困難な所有者に対して紹介する制度の検討を進めます。

㉞ 横浜市シェアサイクル事業（道路局事業）

横浜市では「横浜都心部コミュニティサイクル事業」と「横浜市広域シェアサイクル事業社会実験」の2つの事業を2024（令和6）年度まで実施していました。

2025（令和7）年度からは市内全域を事業区域とする「横浜市シェアサイクル事業」を開始し、移動の利便性向上、都市の活性化、脱炭素社会の形成、交通安全の推進の4つを事業の目的とし、引き続き官民協働で事業の推進を図っていきます。

## ㉕ 青木小学校の不足教室対策（教育委員会事務局事業）

青木小学校は、通学区域内におけるマンション開発の影響で児童が増加しており、教室不足が見込まれています。施設面や、通学区域の見直しといった具体的な対応策について、「青木小学校」学校規模適正化等検討部会において、検討を行っています。

検討部会は、令和7年8月時点で計3回開催されています。第1回及び第2回検討部会では、施設面による対策を中心に検討を行いました。事務局より、工事スケジュールや教育活動への影響等の理由から、内部改修や増築等による施設面での対応は困難であることを御説明しました。その後、第2回及び第3回検討部会において、「通学区域の見直し案」を事務局より提示し、検討を行いました。第4回検討部会も引き続き、「通学区域の見直し」による対策を中心に検討を進める予定です。

## ㉖ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（下水道河川局事業）

災害時に必要な物資等を輸送するための緊急輸送路などに敷設された下水道管の耐震化を進めています。令和7年度は国道1号などで耐震化を予定しています。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。

令和7年度は引き続き、新子安、七島町から松ヶ丘、鶴屋町周辺などで工事を実施します。

## ㉗ 横浜駅周辺地区における下水道整備（下水道河川局事業）

市内で最も都市機能が発達し集積している横浜駅周辺地区（エキサイトよこはま22）では、目標整備水準を時間降雨量約74mm（30年に1回の降雨）に引き上げ、下水道施設の整備を進めます。

令和7年度は引き続き、神奈川公園等でエキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を進めます。

## ㉘ 公園再整備・施設改良事業（みどり環境局再配当）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和7年度は菅田公園で実施を予定しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。

令和7年度は、幸ヶ谷公園、打越公園、織茂公園などで実施を予定しています。

## ㉙ 道路維持修繕事業（道路局再配当）

羽沢町（主要地方道環状2号線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図ります。

## ㉚ 道路改良事業（道路局再配当）、都市計画道路整備事業（道路局事業）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、関係地権者と用地交渉を進め、早期取得、早期完成を目指します。また、六角橋線（六角橋地区）については令和7年5月に事業認可を取得し、今後、用地測量などを進めます。

## IV 信頼される区役所づくり 13,335千円（6年度14,846千円）

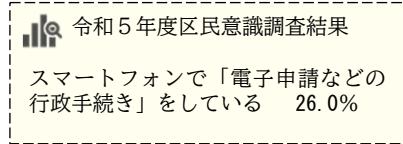
27 かながわデジタル推進事業

28 チーム神奈川おもてなし向上事業

### 27 かながわデジタル推進事業 4,344千円（6年度 8,217千円）

総務課

神奈川区の窓口におけるデジタル化の推進により、来庁者の利便性向上や混雑緩和を図ります。



#### (1) 区役所デジタル化推進

- ア 窓口混雑状況や呼出番号をWeb上で確認できるシステムの保守・運用
- イ 来庁者用のWi-Fi運用
- ウ 区政広報用デジタルサイネージの設置等

### 28 チーム神奈川おもてなし向上事業 8,991千円（6年度6,629千円）

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策により、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指します。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めます。

#### (1) 人材育成等推進事業

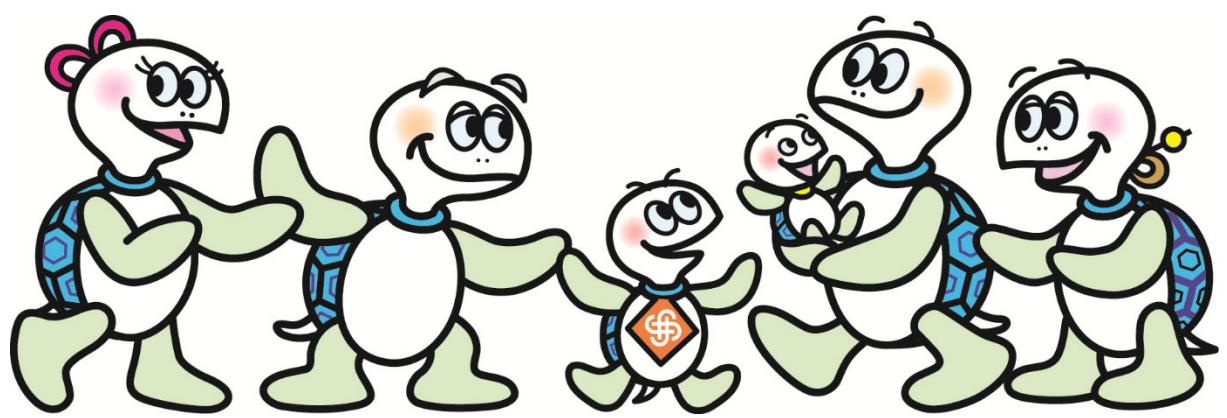
- ア 新採用・転入者研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修（年3回程度：6月、9月、10月～2月）

#### (2) 人権啓発事業

- ア 区職員向け研修
  - (ア) 責任職研修（全体：2回（6月）、グループ：各3回（6月～2月））
  - (イ) 職員対象研修（年7回程度：10月～12月）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会（年1回：1月）

#### (3) 来庁者の利便性向上

- ア 庁舎周辺の清掃や、窓口及び待合スペース等の環境改善
- イ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付



## 令和8年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方（案）

### 1 区の基本目標

「笑顔でつながる『神奈川区』」  
～ 地域の皆様とともに、安心で温かい元気なまちづくりを進めます～

#### 【目標達成に向けた3つの施策】

- いきいきと暮らせるまちづくり  
「子ども子育て」「高齢者、障害児・者支援」「健康づくり」等
- 魅力あふれるまちづくり  
「地域づくり」「GREENなまちづくり」「魅力発信」「区制100周年記念事業関連」等
- 安全・安心なまちづくり  
「防災・減災」「防犯」「交通安全対策」等

### 2 令和8年度予算編成にあたって

- 少子高齢化の進展への対応や、横浜市地震防災戦略の推進、グリーン社会の実現、DX戦略の推進など、社会情勢の変化や市全体の動きを的確にとらえ、安全・安心で温かい元気なまちづくりを着実に進めます。
- 区政運営にあたっては、地域や関係団体、企業、大学等との連携の輪を広げ、「つながり」を力に、多様な主体とのまちづくりに取り組みます。
- 2027年の「GREEN×EXPO 2027」、「神奈川区制100周年」を契機とした、将来も見据えた取組を進めます。特に、区制100周年は、区への愛着を高める契機とするために幅広い機運醸成や記念事業の準備を進めます。
- 地域の課題や区民の皆様の声をしっかりと把握し、予算に反映させるとともに、データ活用や創造・転換の視点をもって予算編成に取り組みます。